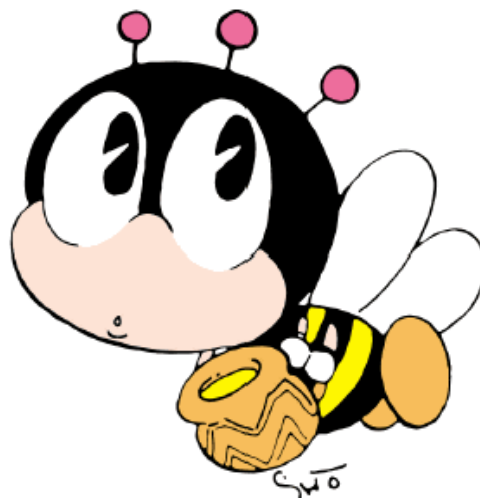


# 生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査表

～平成27年度実施状況と平成28年度実施計画～



平成28年6月

**生涯学習推進本部**  
事務局：生涯学習部生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり							
①学びへの情報提供体制の充実							
1	暮らしの便利帳・あびこガイドブックの発行	市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語版を増刷(5000部)</li> <li>・英語および中国語版を発行(各1000部)</li> </ul> </li> <li>市内公共施設、アビシルベほか千葉県観光情報館や都内ホテル等に配置。</li> <li>●暮らしの便利帳 暮らしの便利帳は平成28年度に発行するため協定を締結した。</li> </ul>	ガイドブック「ABI ROAD」は、好評のため日本語版の増刷と英語及び中国語版を作成し発行した。市の情報提供を行い市の魅力を発信した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」 28年度は改訂等の予定なし</li> <li>●暮らしの便利帳 平成28年8月末完成、9月中旬に全戸配布を行い、以後、転入者を対象に配布する。</li> </ul>		秘書広報課
2	広報「あびこ」の編集・発行	市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。 【発行部数】 53,000部</li> </ul>	施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	前年度と同様の内容。写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努める。		秘書広報課
3	男女共同参画情報紙の発行	男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。</li> <li>【29号】特集「ところ変われば、見方も変わる？外国人に聞いた男女共同参画」 【30号】特集「かがやく女性を応援します！働きやすい職場レポート」</li> </ul>	身近な話題を取り上げ、男女共同参画について考える機会を提供できた。	年2回発行。発行形式・部数等は前年と同様。		秘書広報課
4	財政情報の提供	広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ 【掲載内容】  <ul style="list-style-type: none"> <li>《4月》 平成27年度当初予算の概要</li> <li>《7月》 平成26年度下半期予算の執行状況</li> <li>《11月》 平成28年度予算の編成方針</li> <li>《11月》 平成26年度普通会計財務書類4表</li> <li>《12月》 市の財政状況「平成26年度普通会計決算と平成27年度上半期の執行状況」</li> <li>《3月》 平成28年度予算の編成状況</li> </ul> </li> <li>●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載</li> <li>●我孫子市の財政状況説明 ・中央学院大学の地域連携講座 【日程】5月14日 【場所】中央学院大学 【対象・参加者】約70人(学生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。</li> <li>・出前講座や大学からの依頼により財政課職員が講師として出向き、我孫子市の財政状況を理解していただいた。</li> <li>・より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ 4月 平成28年度当初予算の概要 7月 平成27年度下半期予算の執行状況 11月 平成29年度予算の編成方針 11月 平成27年度普通会計財務書類4表 12月 市の財政状況「平成27年度普通会計決算と平成28年度上半期の執行状況」 3月 平成29年度予算の編成状況</li> <li>●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載</li> <li>●出前講座 ・あびこの家計簿</li> </ul>		財政課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
5	食に関する情報の提供及び啓発の充実	食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発します。食品を購入したり外食や調理済み食品を利用する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行います。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行った。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行った。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行った。 ●食育だより 【発行日】9・12・3月の3回発行 【配布枚数】14,000枚/号 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 【日程】5月12日 【参加人数】15人	食育だよりは、公立保育園の保護者、小中学生の保護者に全数配布を行い、広く啓発を行うことができた。しかし、食育だよりの配布だけでは情報提供としては不十分であった。また、出前講座の利用も1回にとどまり、情報提供としては不十分であった。新たな啓発の場を増やしていきたい。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動を行うとともに、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。		健康づくり支援課
6	バリアフリーの情報提供事業	市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。	市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行った。 ●バリアフリーおでかけマップ 【年間アクセス数】15,031件	スマートフォンやタブレット端末にも対応できるホームページとしたため、昨年度の4,413件に比べて大幅にホームページへのアクセス数が増え、多くの情報提供ができた。	市民活動団体・社会福祉協議会と協力して市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」にまとめ、掲載内容の更新を行う。		(障害福祉センター)

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
7	子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院、公共施設 市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布を行った。</p> <p>【発行の方法】 編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信を行った。</p> <p>●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信をし、「あびっ子ネット」ホームページを運営した。</p> <p>【運営の方法】 ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行った。</p>	地域で開催される子どもたちが参加出来る様々なイベントや体験活動等の情報を提供できた。より多くの子どもが自然体験、社会体験、文化活動、スポーツ活動に参加するきっかけとなっている。	<p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回約16,200部(4月発行の新緑号のみ世帯数ではなく児童数で配布の為、17,700部)を発行【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設 市内幼稚園、保育園、小中学校を通して直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布する。</p> <p>【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、27年度同様に市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信していく。</p> <p>●ホームページ 28年度についても、紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、引き続き「あびっ子ネット」ホームページを運営する。</p> <p>【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行なう。</p>		子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
8	子育て支援情報の発信	乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</p> <p>●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】四広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】1000枚発行</p> <p>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 【登録者】2917人(3月末) 【配信状況】318件配信</p> <p>●インターネット(随時) 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」、イベントカレンダー 約90件/月、イベントレポート(ブログ)の作成 54件/年 ・子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供 48件 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿 14件/年</p> <p>●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ)</p> <p>●「幼稚園を知ろう」 来年度我孫子市内幼稚園入園予定者が通園ママに園生活についての身近な質問をし、ママ目線で答える座談会。27年度は市民プラザホールにて開催(前年度まではここに広場で開催)双方合わせ約80組の親子が参加。</p> <p>●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行 【部数】7000部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p>	<p>多様な情報を提供提供しているため、利用者が自分のニーズに合った情報を気軽に選んで利用できるようになってきている。保育サービスを必要とする人の専門相談員を保育コンシェルジュと名前を改め配置したことで、窓口での子育て支援サービスへの問い合わせも増えている。 利用者が情報を活用し、交流できる場に足を運び、仲間を作ることで、育児不安や孤立化を防ぐことができ、家庭での子育ての悩みを解消できるようになっている。</p>	<p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</p> <p>●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】四広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】1000枚発行</p> <p>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時</p> <p>●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」、イベントカレンダー、イベントレポート(ブログ)の作成 ・子育て支援センター情報コーナー内のタッチパネルでの情報提供 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿</p> <p>●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ)</p> <p>●「幼稚園を知ろう」 【内容】来年度我孫子市内幼稚園入園予定者が通園ママに園生活についての身近な質問をし、ママ目線で答える座談会。 【場所】あびこ市民プラザホール</p> <p>●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】7月発行予定 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p>		保育課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
9	手賀沼情報の提供	手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや市内の掲示板で提供し、手賀沼に対する関心を深める。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載した。我孫子市ホームページに千葉県の水質情報ページのリンクを貼った。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新した。  【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、市役所分館庁舎1階、アビスタ、手賀沼ピオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所	手賀沼についての情報を遅滞なく提供できた。	手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。我孫子市ホームページに千葉県の水質情報ページのリンクを貼る。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。  【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、市役所分館庁舎1階、アビスタ、手賀沼ピオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所		手賀沼課
10	都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画とは何か、都市計画法等の法令内容に沿って概要を説明するとともに、我孫子市における都市計画の内容について事例を用いて説明する。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行った。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行った。	・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」やホームページの更新を行い情報提供を行う。		都市計画課
11	都市計画図等の作成・管理事務	常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにした。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売した。	・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。	・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。		都市計画課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
12	景観形成情報発信・啓発事業	多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	市民の応募をもとに我孫子の魅力ある景観として選ばれた「我孫子のいろいろ八景」を散策するイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を実施した。景観づくり市民団体「我孫子の景観を育てる会」と協働して、4つのコースを定め、実施した。 ●「我孫子のいろいろ八景歩き」 ≪布佐・新木三大緑地公園コース≫ 【日程】11月22日(日) 午前9時から午後12時まで 【参加者】27名 ≪湖北台のまちなみと田園コース≫ 【日程】12月6日(日) 午前9時40分から午後12時まで 【参加者】25名 ≪高野山台地の古墳と八景を巡るコース≫ 【日程】12月13日(日) 午前9時30分から午後12時まで 【参加者】24名 ≪白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース≫ 【日程】12月20日(日) 午前9時から午後12時まで 【参加者】25名  ●出前講座 【日程】11月17日(火) 【時間】午前10時から午前11時30分まで 【場所】湖北地区公民館 【参加人数】30人	各コースとも定員を超える申込があり、参加者からも好評を得た。 各コースの景観ポイントをガイドしながら散策する事を通して、我孫子の魅力ある景観を広めるきっかけ作りが出来た。	我孫子のいろいろ八景歩きについて、27年度に設定した4コースの散策を再度実施すると共に、新規で4コースを設定し、散策を実施する。		都市計画課
13	あびバス景観マップの作成	多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	・作成済みである船戸・台田ルート、栄・泉・並木ルートのマップをアビスタ、アビシルベ、各近隣センター等の施設やあびバス車内にて配布した。 ・新たに新木ルートのマップが完成し、2,500部印刷。同じくアビシルベ等の施設やあびバス車内にて配布した。	・各ルートのマップは、作成する度に好評を得ており、多くの人に手に取って頂いている。 ・マップの配布を通じて、我孫子の魅力ある景観を周知することができた。	・新たに「根戸・布佐ルート」のマップ作成を進める(完成・配布は29年度を予定)。 ・作成済みルートのマップを引き続きアビシルベ等の施設やあびバス車内にて配布していく。		都市計画課
14	住宅情報の総合的提供	市のホームページに「住まい」に関わる情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	市ホームページや広報を活用し、市の住宅施策の周知に努めた。 また、住宅施策のひとつに空家対策事業があり、対応策として不動産相談の活用を挙げている。 この不動産相談を幅広く周知するため、課税課と協議し、固定資産税納付通知書の送付時に不動産相談の案内を同封し周知を行った。	市民への住宅施策の周知方法の工夫で平成26年度不動産相談件数が23件だったのに対し平成27年度不動産相談件数が44件(うち、空家・空地に関する相談10件)と増加し、多くの方に情報提供が行えた。	引き続き、市ホームページや広報を活用の他、関連課等と連携しながら、必要とされる情報を幅広く発信する。		建築住宅課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
15	水道広報活動推進事業	水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報「あびこの水道」 【発行回数】年2回(5/16号・11/16号)発行 ・新聞折り込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送</li> <li>● 水道施設見学会 【場所】北千葉広域水道企業団・妻子原浄水場 【実施日】平成27年8月19日(水) 【対象者】小学生3～6年生とその保護者 【参加人数】18人</li> <li>● 我孫水ラベルデザイン募集 我孫子市制45周年記念の一環として我孫水ラベルデザインを募集した 【対象者】小学生3～6年生 【応募数】473点</li> <li>● 我孫水(水道水)のPR ・各種イベント等で我孫水を配布し、水道水のおいしさをPR</li> </ul>	水道事業の情報提供を行い、広報誌の全戸配布等により、その成果はあったと思われる。 我孫水ラベルデザインの審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作11点が選ばれ最優秀賞のラベルデザインは、平成28年度に製造する我孫水から使用する。	広報「あびこの水道」の発行、施設見学会の開催など、水道事業の周知を行う。		水道局経営課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
16	生涯学習情報の発信	各課で実施する生涯学習関連事業について、「あびこ楽校ニュース」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用拡大を図る。	<p>●ホームページ 7月の我孫子市ホームページのリニューアルに伴い、生涯学習のホームページのリニューアルを行った。 【トップページのアクセス数】5839件</p> <p>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年3回発行。本年度から自治会配布を実施した。 【印刷部数】各7,000部</p> <p>・26号 【発行日】6月16日 【内容】ハケの道さんぼ～我孫子・天王台地区～、早寝！早起き！朝ごはん！、我孫子の食育、我孫子の地名シリーズ「我孫子の由来」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>・27号 【発行日】9月16日 【内容】ハケの道さんぼ～天王台・湖北台地区～、秋の文化祭・スポーツフェスタ、我孫子の地名シリーズ「“都部”読めますか？」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>・28号 【発行日】12月14日 【内容】ハケの道さんぼ～湖北台・新木地区～、鳥の博物館へ行ってみよう！、生涯学習推進事業「人は、なぜ走るか？」、生涯学習出前講座を紹介</p> <p>●【楽】マーク 各課で実施する生涯学習関連事業について、広報掲載時にあびこ楽校事業として【楽】マークを付けて、生涯学習事業の周知・普及を図った。 【年間掲載数】</p>	ホームページの閲覧数は、昨年度の9,533件から3,714件減少した。原因としては、リニューアルに伴いページのアドレスが変更になったことや市のトップページにあったバナーが削除されたためと思われる。あびこ楽校ニュースにより、市の生涯学習情報を積極的に発信した。また27年度より、市内自治会への回覧・配布を行い、より多くの方へ周知をすることができた。	ホームページや情報紙などにより生涯学習に関する情報提供を行う。 ●ホームページ 情報の更新を積極的に行い、新しい情報を発信できるようにし、閲覧回数の増加をめざす。 ●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年4回発行する。自治会配布を行い市で行っている生涯学習情報を積極的に発信する。 【発行日】4月16日、7月16日、10月16日、平成29年1月16日		生涯学習課
17	生涯学習情報提供システムの整備	学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。			平成29年度実施をめざし、生涯学習情報提供システムの導入準備を行う。		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
18	電腦考古博物館の運営	我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	掲載内容を精査して28年3月に市ホームページに移管を完了した。	市のホームページに移管することにより、情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができるようになった。	最新情報として、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を速やかに実施する。		文化・スポーツ課
19	図書館における郷土・行政資料サービス	多くの市民に我孫子市や千葉県に関する郷土や行政に関心を持ってもらうため、郷土・行政資料の収集・保存・提供に努め、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。我孫子市の資料については、アビスタブ館が中心となり、収集・保存する。	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタブ館が中心となって収集・保存した。 なお、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営、講演会の開催にあたっては、白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図った。  我孫子資料・千葉県資料 【年間貸出冊数】4,311冊  ◀杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント▶ 【内容】朗読で知る昭和はじめの我孫子 【日程】9月26日(土) 【場所】杉村楚人冠記念館 【参加者】26人 【講師】杉村楚人冠記念館スタッフ、図書館市民スタッフ(読書普及)  ◀「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営▶ 図書館に、我孫子ゆかりの人と作品を紹介するコーナーを設置	我孫子資料・千葉県資料の年間貸出冊数は232冊の増加(+5.7%)となった。我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に係わるための一助となった。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携することが欠かせない。	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供する。我孫子資料については、特にアビスタブ館が中心となって収集・保存する。白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講演会の開催を行う。		図書館
20	図書館の情報化推進	図書館の電算システム等を運用し、市民の利便性の向上を図るとともに、過去の出来事や事件を手軽に調べることができる新聞の有料データベースにより情報提供を行い、知る自由を保障する。	・図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。 ・館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。 ・新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。	図書館の情報化をより一層推進するとともに、資料のデジタル化も検討していく必要がある。	・図書館電算システムの更新 ・図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処する。 ・館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努める。 ・新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努める。		図書館
21	鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館専用ホームページを運営し、鳥の博物館のイベント情報、企画展のお知らせ等、博物館事業の情報提供を行う。	ホームページのリニューアル及び市のサーバーで一括管理できるよう業務委託を実施し、企画展、イベント、博物館周辺の自然情報など最新の情報を発信した。(27年7月) 7月のリニューアル以降、平成28年度3月までの9か月間に153回の更新を行い、最新情報の提供に努めた。	27年7月から28年3月までのホームページ閲覧者数は34,460人であった。これは前年度同期の32,378人より約6%増加した。	昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信していく。		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
②学びにつなげるための相談体制の充実							
22	生涯学習学習相談体制の整備	市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点とした学習情報の収集と提供を行った。また収集した情報を活用した学習相談を行った。←学習相談を実際に受けていれば受付数など具体的補足をお願いいたします 「生涯学習人材情報」や「生涯学習団体・グループ情報」を整備し、インターネットや閲覧用ファイルで市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール	生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報のホームページや閲覧用冊子を参照した方からの問い合わせも多数あった。出前講座メニュー表を配布することで、市民に主体的な学習機会を提供できた。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点とした学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。		生涯学習課
23	生涯学習人材バンクの整備	市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、定期更新を行ない最新の情報へ更新した。また、随時登録募集を行うとともに、市民の問い合わせに対し情報を提供した。 【登録件数】 《生涯学習人材情報》87件(平成28年3月31日現在) 《生涯学習団体・グループ情報》158件(平成28年3月31日現在)	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方からの問い合わせが多数あった。	生涯学習人材情報、生涯学習団体・グループ情報について、随時登録募集を行い、情報数を増やす。課内の情報共有を行い、問い合わせに対し迅速に回答できるようにする。		生涯学習課
24	生涯学習ボランティア	出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民がもっている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と学ぶ場の提供のため、生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。 【平成27年度 ボランティア登録状況】《個人登録数》 96人、《団体登録数》 6団体 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 12人 あびっ子クラブサポーター 209人 あびこスゴロク制作会議 — 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 47人 子育てサポーター 73人 保育園における災害時協力員 65人 インターンシップ 14人 キッズスタッフ 3人 《指導課》 学校支援ボランティア 1103人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 34人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 36人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 11人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 13人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 62人、6団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 10人	ボランティア登録を行うことにより、ボランティア情報の提供や、ボランティアが活躍できる場の提供を行えた。	市民がもっている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図る。		生涯学習課 他6課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
25	視聴覚ライブラリーの管理・運営	現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	<p>【機材・教材保有状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンブレセットなど約20種類の機材</li> <li>・16ミリフィルム:325本</li> <li>・ビデオソフト:253本</li> <li>・DVD:193本</li> </ul> <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴覚教材及び機材の貸出(通年)</li> <li>【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者。</li> <li>【利用件数】225件 (16ミリフィルム教材貸出数:105本、ビデオソフト貸出数:7本、DVDソフト貸出数:23本)</li> <li>●視聴覚教材の保守点検</li> <li>【日程】5月19～26日</li> <li>【16ミリフィルム保守点検数】93本</li> <li>●DVD教材の新規購入</li> <li>【日程】7月</li> <li>【DVDソフト購入数】8本</li> <li>●夏休みアニメ映画会の開催</li> <li>【日程】8月5日(水)</li> <li>【場所】アビスタミニホール</li> <li>【参加者】100人(子ども62人、大人38人)</li> </ul>	視聴覚ライブラリーの教材や機材を貸出し、市民に活用してもらうことで市民の生涯学習課活動を支援することができた。現在保有している機材の老朽化が課題となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●視聴覚教材及び機材の貸出(通年)</li> <li>【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者。</li> <li>●視聴覚教材の保守点検</li> <li>【16ミリフィルム保守点検数】</li> <li>●夏休み朗読&amp;アニメ映画会の開催</li> <li>【日程】8月2日(火)</li> <li>【場所】アビスタ ホール</li> </ul>	平成27年度の事業仕分けにより貸出しは続けるが機材等の購入は行わないこととし、保有している機材は修理のみで対応していくこととなった。また、16ミリフィルムについては、可能な限り活用し、時期をみて保存を行う。	生涯学習課
26	図書館カウンターサービス	図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。</li> <li>・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館の開館日は午後8時まで開館した。</li> <li>・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。</li> <li>・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。</li> </ul> <p>【年間貸出冊数】 1,201,944冊</p> <p>【年間貸出利用者数】 313,044人</p>	前年度と比較すると、年間貸出冊数は16,490冊減少(-1.4%)、年間貸出利用者数は2,026人減少(-0.6%)した。年間貸出冊数、年間貸出利用者数ともに平成25年度から減少傾向にあるため、今後減少傾向の原因を様々な視点で調査し、利用増につながる対策を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行う。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行う。</li> <li>・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館する。また、アビスタ本館の開館日は午後8時まで開館する。</li> <li>・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行う。</li> <li>・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行う。</li> </ul>		図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
27	図書館利用に障害のある方へのサービス	録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジター録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。</p> <p>また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。</p> <p>【利用件数】  《対面朗読サービス》 102回  《郵送貸出サービス(デジター録音図書含む)》 1,083点  《宅配サービス》 1,252点  《窓口でのデジター録音図書》 253件</p>	<p>利用件数を前年度と比較すると、対面朗読サービスは19回減少(-15.7%)、郵送貸出サービスは60点増加(+5.9%)、宅配サービスは454点増加(+56.9%)となった。</p> <p>対面朗読サービスは、利用対象者が1人減るとともに、利用者の都合(病気等)により実施されないうこともあったため、利用回数が減少した。郵送貸出サービスは、デジター録音図書の貸出開始により年々増加している。宅配サービスは新規登録者への貸出が活発だったため宅配冊数が増加した。</p> <p>ハンディキャップを持つ人への様々なサービスの提供により、学びたいときに学べる学習機会を充実させるという目的に対して、一定の効果が上がっている。しかし、一部の利用者の利用だけに偏らないよう、今後も新たな利用者の開拓や、PRを積極的に行っていく必要がある。</p>	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジター録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なう。</p> <p>また、ハンディキャップサービスのPRを行なう。</p>		図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
③学びへの関心を高めるための啓発の充実							
28	交通安全思想の普及	警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全思想の普及を図る。	<p>・保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察、交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施した。</p> <p>・模擬信号機、模擬交差点、ダミー人形等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、DVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学んでもらった。</p> <p>【日程・対象・参加者数・内容】</p> <p>4月 6日(月) 根戸小 1年 183人 歩行(シティア居住児童)、4月13日(月) 布佐中 1年 106人 自転車</p> <p>4月20日(月) 布佐南小 ①1~3年 69人 歩行 ②4~6年 91人 自転車</p> <p>4月22日(水) 根戸小 1年 165人 歩行、4月24日(金) 湖北中 1~2年 291人 自転車</p> <p>4月27日(月) 湖北小 1~2年 116人 歩行、4月28日(火) 湖北台西小 5~6年 123人 自転車</p> <p>4月30日(木) 湖北台西小 3~4年 109人 自転車、4月30日(木) 久寺家中 1年 128人 自転車</p> <p>5月 1日(木) 湖北台西小 1~2年 117人 歩行、5月13日(水) 高野山小 1年 111人 歩行</p> <p>5月25日(月) ひかり幼稚園 園児 150人 歩行、5月29日(金) 湖北台東小 3~4年 100人 自転車</p> <p>6月 1日(月) 高野山小 2年 100人 巻き込み防止実演、6月4日(木) 第二小 1年 60人 歩行</p> <p>6月12日(金) 第一小 ①1~2年 192人 歩行 ②3年 93人 自転車</p> <p>6月17日(水) 並木小 ①1年 63人 歩行 ②3年 85人 自転車</p> <p>6月18日(木) 新木小 ①1年 91人 歩行 ②3年 83人 自転車 ③6年 113人 自転車</p> <p>6月19日(木) 新木小 ①2年 88人 歩行 ②4年 85人 自転車 ③5年 107人 自転車</p> <p>6月24日(水) 緑保育園 園児 120人 歩行</p> <p>7月26日(水) 第四小 ①1~2年 289人 歩行 ②3~4年 278人 自転車</p> <p>7月 2日(木) 布佐小 ①1~2年 66人 歩行 ②3年 45人 自転車</p> <p>10月28日(水) ぽけっとランドあびこ 園児 63人 歩行</p> <p>【年間合計】 32教室</p>	子どもたちへの交通安全に対する認識を高めることができた。	<p>・保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察、交通安全協会と連携した交通安全教室を実施する。</p> <p>・模擬信号機、模擬交差点、ダミー人形等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をするほか、DVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償について学ぶ。</p>	市民安全課	
29	集団健康教育	保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施した。</p> <p>【内容】がん、禁煙、ロコモティブシンドローム、歯の健康等</p> <p>【場所】保健センター</p> <p>【参加者(延べ人数)】延べ実施人数: 10,999人(集団:子宮頸がん検診 3,098人、乳がん検診 4,058人(マンモグラフィ検査2,947人 超音波検査1,111人)、胃がん検診 3,401人、骨粗しょう症検診 442人)</p>	糖尿病、高血圧、動脈硬化やがんの知識と食生活・運動習慣・休養・喫煙・アルコール・口腔衛生などに関する健康教育を実施することで、健康寿命の延伸、疾病の一次予防の推進を図ることができた。	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。</p> <p>(内容:がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等)</p>	健康づくり支援課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
30	健康フェア	健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	<p>●健康フェア 市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】11月8日 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、教育委員会、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「健康寿命の延伸」健康に関するイベント、健康相談・教育を実施。 【参加者】2,465名(延べ)</p>	雨天のため、昨年度より参加者数は減ったが、来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が約95%を占め、事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考える。	●健康フェア 市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催予定。 【日程】11月20日 【場所】アビスタ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「健康寿命の延ばそう! Smart Life Project!」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施する予定。		健康づくり支援課
31	廃棄物に関する教育啓発事業	我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	<p>イベントや小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱っているため休止。</p> <p>●大人を対象とした施設見学 27年度は3回実施した。 【日程・参加者数】 第1回 9月16日 12名 第2回 11月27日 25名 第3回 2月2日 14名 【合計参加者数】 51名</p>	放射能の関係から対象を大人に絞って施設見学を行ったことで、引き続き我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介する機会を提供できた。	イベントや小学生を対象にした施設見学は、放射能を含む焼却灰を取り扱っているため休止。再開の目処はたっていない。  出前講座のメニューに大人が対象の「施設見学」を行う。		クリーンセンター

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
32	石けん利用の推進	石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化や地球温暖化など環境改善につなげる。	<p>●保育園での啓発 【内容】粉石けん・パンフ配布とシャボン玉遊びを通しての石けん啓発 ①【日程】7月4日 【場所】東我孫子保育園 【参加者】園児130名、保護者100名 ②【日程】7月11日 【場所】つくし野保育園 【参加者】園児120名、保護者100名 ③【日程】7月28日 【場所】わくわく広場 【参加者】親子6組、園児25名</p> <p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月20日 【場所】アビスタ 【参加者】親子41名 《福祉ふれあいプラザ親子体験教室》 【日程】11月16日 【場所】けやきプラザ 【参加者】親子51名</p> <p>●イベント参加 《ママへのごほうびフェスタ》 【日程】9月5日 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 【内容】コネコネ石けん、プリプリ石けん作り 《産業まつり》 【日程】10月18日 【場所】湖北台中央公園 【内容】啓発用粉石けん、パンフ800セット配布、ブラックボックス体験パネル展示・プリン状石けんの見本展示及び説明</p>	消費者が悪質詐欺などの消費者被害に遭わないための情報提供をパンフレットの配布や掲示物で発信していきつつ、この生活展では、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し安全・安心で豊かな生活を送れるよう各市民団体が情報を発信する機会や団体同士の情報交換の場の提供ができた。	<p>●保育園での啓発 ①【日程】7月2日 【場所】寿保育園 ②【日程】7月9日 【場所】湖北台保育園 ③【日程】7月26日 【場所】わくわく広場</p> <p>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月23日 【場所】アビスタ 《福祉ふれあいプラザ親子体験教室》 【日程】11月 【場所】けやきプラザ</p> <p>●イベント参加 《子育てフェスタ》 【日程】9月3日 【場所】イトーヨーカドー我孫子南口店 《産業まつり》 【日程】10月16日 【場所】湖北台中央公園</p>		商業観光課
33	小学校『歯磨き・食育指導』事業	乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	<p>・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に実施。 【実施回数】136回 【場所】市内小学校13校 【対象者】4,009人</p> <p>・学校の希望により、学校給食後(昼食後)の児童の歯磨き指導を、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】136人</p> <p>・学校の希望により、臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】415人</p>	12歳児の永久歯の1人平均むし歯経験歯数が、全国平均値より低い数値であった。歯磨き・食育に関しての啓発ができた。	<p>・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に実施予定。(実施回数・参加者は見込み数) 【実施回数】108回 【場所】市内小学校13校 【対象者】3,200人</p> <p>・学校の希望により、学校給食後(昼食後)の児童の歯磨き指導を、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校3回 【場所】市内小学校13校 【対象者】50人</p> <p>・学校の希望により、臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で実施。 【実施回数】各校5回 【場所】市内小学校13校 【対象者】300人</p>		学校教育課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
34	生涯学習推進計画事業実施状況調査	市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	<p>第二次生涯学習推進計画実施計画に基づく事業の平成26年度実施状況の具体的内容・課題、平成27年度の実施予定内容と廃止・見直し等の理由・代替事業の有無の把握をするため、4～5月に計画に基づく事業の進行管理のための実施状況調査を実施した。</p> <p>●平成26年度実施状況 実施計画(後期)に位置付けた139事業を実施計画事業として進行管理を進めた。</p> <p>【新規事業】 ・我孫子市創業支援事業(企業立地推進課) ・チャレンジDAY(市民活動支援課)</p> <p>【休止事業】 ・手話及び要約筆記奉仕員養成講座(障害福祉支援課) ・廃棄物に関する教育啓発事業(クリーンセンター)</p> <p>【隔年事業】 ・暮らしの便利帳・あびこガイドブックの発行(秘書広報課)</p> <p>●平成27年度の実施予定内容 平成27年度事業は、概ね26年度事業を継続して実施する。また、事業を休止した事業・隔年事業・統合事業・廃止事業が6事業あり、平成27年度実施事業は、133事業を実施する。</p> <p>【休止事業】 ・手話及び要約筆記奉仕員養成講座(障害福祉支援課) ・廃棄物に関する教育啓発事業(クリーンセンター)</p> <p>【隔年事業】 ・高齢者虐待防止講演会(高齢者支援課) ・こども議会(指導課)</p> <p>【統合事業】 ・デジター録音図書作成事業(図書館) ※図書館利用に障害のある方へのサービス へ統合】</p> <p>【廃止事業】 ・朝食レシピコンクール(健康づくり支援課)</p>	放射線の問題などにより事業を休止した事業や、2年に1回実施する事業が3事業あったものの、ほぼ順調に執行された。生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表の平成26年度事業の課題を見ると、事業のPRの必要性・定員に満たない事業の対策・事業サポーター・スタッフの確保などの課題がありました。これらの課題については、ホームページや紙媒体などによる学習情報の提供の強化・他部署との連携の強化などについて、事務局が事前に各課へ情報の提供など実施していくこととした。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成27年度実施状況の具体的内容・課題、平成28年度の実施予定内容と廃止・見直し等の理由・代替事業の有無の把握をするため、5から6月に計画に基づく事業の進行管理のための実施状況調査を実施した。		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
35	生涯学習推進本部の運営	生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	<p>●推進本部会議 推進本部会議を3回開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図った。 【日程】7月30日、11月26日、2月12日</p> <p>・生涯学習推進計画実施計画実施状況調査 5から6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成26年度実施事業内容、平成27年度実施予定事業の把握を行った。</p> <p>●幹事会会議 幹事会会議を4回開催し、生涯学習の推進について協議を行った。 【日程】7月27日、11月12日、1月28日、3月24日</p> <p>●第三次生涯学習推進計画 第二次生涯学習推進計画が、平成27年度で計画期間が終了するため、第三次生涯学習推進計画を策定した。</p> <p>・第三次生涯学習推進計画策定部会 第三次生涯学習推進計画策定のため、第三次生涯学習推進計画策定部会を設置し、会議を7回開催した。 【日程】6月5日、7月10日、8月28日、10月6日、11月4日、12月4日、3月24日</p>	全庁の生涯学習推進計画の推進を図るとともに、課題について協議し、結果を各課に情報として提供することができた。また市民に各課が実施する生涯学習に関わる事業の調査や学習情報を提供できた。 第三次生涯学習推進計画を策定し、28年度からこの計画に基づき、生涯学習の推進を図っていく。	<p>●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図る。</p> <p>《生涯学習推進計画実施計画実施状況調査》 6月に第二次生涯学習推進計画に基づく事業進行管理のため実施状況調査をし、平成27年度実施事業内容、平成28年度実施予定事業の把握を行う。</p> <p>●幹事会会議 幹事会会議を開催し、生涯学習の振興について協議を行う。</p>		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
36	健康スポーツ普及事業	市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、スポーツ指導者資格研修制度導入を研究する。	<p>・市内6つのクラブにおいて、ベタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動した。</p> <p>・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。</p>	<p>・交流連絡会について方向性を示し、より一層のクラブ活動の充実を図る。</p> <p>・各クラブの自主運営のため参加人数は、掘んでいない。</p>			文化・スポーツ課
37	読書普及活動	依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>出前講座として、「子どもと読書」「大人が楽しむおはなし会」「図書館の上手な使い方・楽しみ方」の3つの講座を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。</p> <p>●出前講座等読書普及活動</p> <p>＜出前講座＞</p> <p>【回数・人数】3回、42人 （「大人が楽しむおはなし会」2回 33人、「図書館の上手な使い方・楽しみ方」1回 9人）</p> <p>＜職員派遣＞</p> <p>【派遣回数】10回</p> <p>【参加者】204人</p> <p>【派遣先】小・中学校、保育園等</p> <p>＜離乳食教室での乳幼児と保護者への読み聞かせ＞</p> <p>【実施回数】12回（月1回）</p> <p>【参加者】561人</p> <p>＜出張おはなし会＞</p> <p>【実施回数】7回</p> <p>【参加者】367人</p> <p>【出前講座等参加者数】1,174人</p>	<p>出前講座等参加者数は、市民団体や学校の人数によって変動的ではあるが、毎年1,000人以上の実績があり、安定的に読書普及の効果がある。</p>			図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
38	図書館PR	図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。</li> <li>・「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行した。</li> <li>●我孫子市の図書館 【発行日】10月1日 【発行部数】250部</li> <li>●たんた新聞 【発行日】年4回(4月1日、7月1日、10月27日、12月1日)発行 【配布場所】図書館窓口、市内各小学校、県立我孫子特別支援学校小学部、県内公共図書館 【発行部数】合計13,000部</li> <li>●我孫子市民図書館 秋のたより 【発行日】10月27日 【発行部数】1500部</li> </ul>	貸出冊数等が減少傾向にあることから、PRや情報提供の方法を工夫し、一層の利用促進を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なう。</li> <li>・「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行する。</li> </ul>		図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
39	鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家を呼んで講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察や体験の機会を提供するため、身近な材料のできる工作や、観察、体験を中心に実施する。	<p>●講演・講座 【日程】 ○開館25周年記念講座「鳥の博物館のこれから」講師：林良博さん 5月24日(日)13:30～15:00 参加者60人(招待者7人含む) ○「鳥の道を越えて」上映会&amp;トーク トーク：今井友樹監督、佐藤文男さん 9月26日(土)13:30～16:00 参加者150人 ○鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなっている？鳥と恐竜～」講師：真鍋真さん、聞き手：林良博さん 10月31日(土)13:30～15:30 参加者166人 ○ゲストトーク「チョウゲンボウと十三崖の魅力」講師：本村健さん 11月1日(日)10:30～11:30 参加者52人 ○鳥博セミナー「フクロウはどうしてかわいいの？」講師：柴田佳秀さん 2月21日(日)13:30～15:00 参加者61人</p> <p>●フロアスタッフイベント ○飛べ！鳥の紙ひこうき 5月4日(月・祝)・・・参加者20人 ○鳥風教室 5月5日(火・祝)・・・参加者38人 ○ちぎり絵で鳥をつくろう 5月10日(日)・・・参加者83人 ○夏の遊びと研究大集合！ 7月18日から8月23日までの毎週土・日曜日 7/18「ブーブーカモ笛」・・・参加者38人 7/19「ダチョウの骨ってどんな骨？」・・・参加者24人 7/25「ふくろうホバークラフト」・・・参加者32人 7/26「メダカでアクアリウム」・・・参加者53人 8/1「ゴーストミズク」・・・参加者40人 8/2「ふくろうホバークラフト」・・・参加者35人 8/8「実物大！羽図鑑をつくろう」・・・参加者47人 8/9「ブーブーカモ笛」・・・参加者37人 8/15「ダチョウの骨ってどんな骨？」・・・参加者15人 8/16「ゴーストミズク」・・・参加者29人 8/22「コウノトリグライダー」・・・参加者50人 8/23「根っこの観察キットをつくろう」・・・参加者24人 ○鳥風教室 1月10日(日)・・・参加者27人 ○ちぎり絵で鳥をつくろう 1月24日(日)・・・参加者21人</p>	講演・講座では鳥類に関するさまざまな研究や話題を取り上げ、参加者の鳥や自然への理解の機会を設けることができた。イベントでは、工作や観察などを通して、楽しんで自然や科学を学ぶ機会を設けることができた。	<p>●講演・講座 【日程】 ≪鳥学講座≫11月5日(土) ≪ゲストトーク≫11月6日(日) ≪鳥博セミナー≫2月下旬</p> <p>●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 ≪飛べ！鳥の紙ひこうき≫5月4日(水・祝) ≪鳥風教室≫5月5日(木・祝) ≪和紙で鳥のカードをつくろう≫5月8日(日) ≪夏の遊びと研究大集合！≫8月6日から28日までの毎週土・日曜日と祝日 8/6「ゴーストミズク」 8/7「ブーブーカモ笛」 8/11「メダカでアクアリウム」 8/13「ばしゃばしゃペンギン」 8/14「実物大！羽図鑑をつくろう」 8/20「ブーブーカモ笛」 8/21「土壌生物クマムシを観察しよう」 8/27「ばしゃばしゃペンギン」 8/28「くるくる鳥ひこうき」 ≪鳥風教室≫1月上旬</p>		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり							
①地域への関心を高める学びの機会の推進							
40	まちづくり探検隊	子どもたちがまちづくりに関して意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。	<p>●平成27年度：給食新メニュー・コンテスト(1学期分)</p> <p>【日 程】          応募期間：6月～9月(※5月20日に各校に応募用紙配布予定)          最終選考：12月          定例記者会見：平成28年2月22日          市長賞(最優秀個人賞)の表彰式・試食：平成28年2月25日          教育長賞(最優秀学校賞)へ表彰状と記念品を配布：平成28年2月25日          新メニュー登場：平成28年度1学期</p> <p>【対 象】 小学4年生～6年生</p> <p>【使用野菜】 春・夏野菜</p> <p>【応募数】 474件</p> <p>【市長賞】 我孫子第一小学校 6年男子 「野菜たっぷり豆腐しゅうまい」          ※賞状及び記念品(米10kg)</p> <p>【教育長賞(最優秀学校賞)】 布佐南小学校 ※賞状及び記念品(学校給食用野菜としてミニトマト)</p>	事業仕分けの事業見直しの結果を受けて、平成28年度は代替事業を検討する。		平成28年度はまちづくり探検隊に替わる事業を検討する。	子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	放課後に子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	<p>・平成27年6月に二小あびっ子クラブ、平成27年8月に高野山小あびっ子クラブ、平成27年9月に四小あびっ子クラブをオープンした。</p> <p>・平成29年3月オープン予定の新木小あびっ子クラブの設計業務を完了した。</p> <p>●あびっ子クラブ 【活動内容】フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時)</p> <p>※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等 《登録状況》</p> <p>●一小あびっ子クラブ：447人(登録率：79.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お琴、おし花等 実施回数(年間)：221回 延べ参加人数：2,956人</p> <p>●四小あびっ子クラブ：623人(登録率：76.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：73回 延べ参加人数：858人</p> <p>●根戸小あびっ子クラブ：808人(登録率：64.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：将棋、おはなし会等 実施回数(年間)：322回 延べ参加人数：3,934人</p> <p>●並木小あびっ子クラブ：332人(登録率：79.8%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、工作等 実施回数(年間)：102回 延べ参加人数：1,368人</p> <p>●二小あびっ子クラブ：332人(登録率：74.1%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、カブラ等 実施回数(年間)：56回 延べ参加人数：617人</p> <p>●三小あびっ子クラブ：488人(登録率：66.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：茶道、囲碁等 実施回数(年間)：119回 延べ参加人数：1,353人</p> <p>●高野山小あびっ子クラブ：551人(登録率：82.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：工作、囲碁等 実施回数(年間)：49回 延べ参加人数：973人</p> <p>●湖北台西小あびっ子クラブ：238人(登録率：68.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：手話ダンス、グランドゴルフ等 実施回数(年間)：90回 延べ参加人数：971人</p> <p>●湖北台東小あびっ子クラブ：198人(登録率：63.7%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お習字、お琴等 実施回数(年間)：132回 延べ参加人数：1,507人</p> <p>●布佐南小あびっ子クラブ：104人(登録率：63.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お話、けん玉等 実施回数(年間)：73回 延べ参加人数：692人</p> <p>※布佐小(長期休業日のみ布佐南小あびっ子クラブ利用)：37人(登録率：14.5%)</p>	<p>新たなあびっ子クラブを設置したことで放課後により多くの子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境が増え、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。</p>	<p>【活動内容】フリータイム、チャレンジタイム 【対象者】あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども 【活動日】月～金曜日：下校時～午後5時 土曜日、学校の振替休業日：午前10時～午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時～午後5時 (ただし土曜日は午前10時～午後5時)</p> <p>※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。 【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始は実施しません。 【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等</p> <p>【オープン予定】 平成28年6月 湖北小あびっ子クラブオープン 平成29年3月 新木小あびっ子クラブオープン</p>		子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	<p>●谷津の自然観察会 【日程・参加者】 4月25日(土) 10名 7月20日(祝) 23名 2月20日(土) 7名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p> <p>●谷津学校 ≪13期生≫ 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】3人</p>	事業を実施したことにより、貴重な谷津の自然を認識いただいたとともに、谷津に興味を持ち保全していくボランティアについて理解が得られました。しかし、現在活動をされているボランティアの老齢化が進んでいるため、会員募集の拡大および活動への参加呼びかけを強化しなければならない。	<p>●谷津の自然観察会 【日程】 5月7日(土) 7月18日(祝) 2月18日(土) 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p> <p>●谷津学校 ≪14期生≫ 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p>		手賀沼課
43	手賀沼船上学習の実施	遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話を船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	<p>小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付けし、船上学習を実施した。</p> <p>●小学校の環境学習 【日程・参加者】 ≪並木小学校≫ 6月 3日、87人 ≪第四小学校≫ 6月10日、140人 ≪湖北台西小学校≫ 6月24日、56人</p> <p>●市民団体等の市民講座や視察等の船上見学 【日程・参加者】 10月16日、1団体20人 1月31日、1団体30人</p>	手賀沼の水質状況の説明はもとより、遊覧船に乗り、手賀沼に水上から触れ合っていたことで、手賀沼や手賀沼に暮らす様々な生き物を目で見て、身近に感じてもらい、浄化啓発を図れた。	<p>小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。</p>		手賀沼課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
44	手賀沼流域フォーラムの開催	市民団体が中心となって水質浄化活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	<p>●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催した。 【企画数】28企画 [内訳]柏:6企画、我孫子:13企画、流山:0企画(中止となったため)、松戸:2企画、鎌ヶ谷:2企画 白井:2企画 印西:3企画 【総参加者数】1,683人</p> <p>●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催した。 《講演会》 【内容】 講演「琵琶湖の保全から学んだ経験と滋賀から世界への発信」 報告「美しい手賀沼をめざして」 【日時】10月17日(土)13:30～16:40 【場所】手賀沼親水広場 3階 研修室 【参加者】72人 《見学会》 【内容】「水草展」バス見学会 【日時】2月11日(木・祝)10:00～15:30 【場所】千葉県立中央博物館 【参加者】32人</p>	中止になった企画もあったが、1,683人も企画への参加者があり、広く手賀沼の水質浄化活動及び浄化啓発活動が行えた。	<p>●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。</p> <p>●全体会の開催 フォーラムの課題に沿った内容の全体会を開催する。</p>		手賀沼課
45	ジャパンバードフェスティバル	自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした芸術的・文化的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や手賀沼などの自然環境保全の情報の発信を推進する。	<p>JBF開催15回記念及び我孫子市制施行45周年記念開催となるJBF2015では、記念事業として海外7カ国からの出展団体の招へいや、JBF実行委員会委員長とゲストによる講演会を行った。JBF開催前のPRも、あびこの魅力発信室をJBF実行委員会事務局に加え、メディアに情報発信を行うとともに、駅前での告知ライブ等も開催した。関係機関とさらに協力し、また様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行った。 【開催日】10月31日(土)、11月1日(日) 【開催場所】アビスタ、手賀沼親水広場他6会場 【記念事業】 ・鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなってる？鳥と恐竜」アビスタ1階ホールにあわせ、2階第1学習室に同時上映モニターを設置し、より多くの来場者に講演会に参加いただいた。 ・海外からの出展者の招へい 参加国計:7カ国 リトアニア共和国・台湾・モンゴル・インド・フィリピン・香港・ブルネイ JBF史上初の7カ国の参加を実現させ、世界にJBFをPRした。 ・出張・ことりカフェwith Birdstory 人気の鳥カフェ・ことりカフェと愛鳥家のコミュニティサイト・Birdstoryが水の館1階に記念出店。発信力も強い両社の協力で、これまでにない支持層の来場や、女性が楽しめる雰囲気場でフェスティバルを盛り上げた。 ・移動飲食販売車出店 アビスタ会場に移動販売車3社が出店し、アビスタ会場を盛り上げた。 【参加者】40,000人(開催2日間延べ人数)</p>	日本各地はもとより、海外からも7カ国の出展を招へいし、例年以上の発表となった。また、広い世代に人気の恐竜をテーマに記念講演を行なったことや、都内ラジオやNHKやTBS等テレビ番組に取り上げてもらったこともあり、過去2年の来場者(JBF2014:27,000人 JBF2013:33,000人)から大幅に増やすことができ、多くの方へ手賀沼の魅力と自然環境の大切さを伝えることができた。	<p>改修工事の関係で水の館周辺が使用できないが、関係機関と協力し、様々な出展団体間の情報交換促進を行い、鳥の魅力と自然環境の大切さへの関心を持ってもらう機会づくりを行う。 【開催日】11月5日(土)、6日(日) 【開催場所】アビスタ、手賀沼親水広場等7会場</p>		手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
46	地区計画制度の活用支援	市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行った。 ●パンフレット 【配布場所】市役所都市計画課 【配布部数】100部	・常に最新の情報に更新することで市民・事業者に対して正確に情報を提供することができた。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。		都市計画課
47	我孫子産農産物の学校給食導入事業	我孫子産米や我孫子産野菜を取り入れた学校給食を通じて我孫子市の農業への興味関心を持ってもらうとともに、栄養バランスの優れた「日本型食生活」の定着を図る。	●我孫子産米・我孫子産野菜の認知度90%を目標とする。 6月実施のアンケート結果では我孫子産米の認知度は小学校86.0%、中学校82.0% 我孫子産野菜の認知度は小学校87.4%、中学校89.3%だった。 ●米飯給食回数3.9回/週を目標とする。 米飯給食を週4回実施した。 ●和食の実施回数を50%以上とする。 和食献立の実施率は全校平均61%を達成。 ●我孫子産野菜を月1～4回学校給食に使用し、品数・数量ともに増やす。 使用回数は全校平均で月3.8回、品数は4.9品目、使用割合は全野菜量に対して6.5%だった。	我孫子産米、我孫子産野菜の認知度については、小・中学生ともに増加した。 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に米を中心とした和食文化や「日本型食生活」の良さを伝えることができた。 我孫子産野菜の使用割合は、天候不順等のため前年より0.4%減少している。 地元農産物を使った給食を教材として、様々な食育を推進し、児童生徒の興味関心や望ましい食生活につながる自己管理能力を高めている必要がある。	●我孫子産米・我孫子産野菜の認知度100%を目標とする。 ●米飯給食回数3.9回/週を目標とする。 ●和食の実施回数を50%以上とする。 ●我孫子産野菜を月1～4回学校給食に使用し、品数・数量ともに微増を目標とする。		学校教育課
48	市民カレッジ我孫子を知るコース	我孫子の歴史や我孫子と関わった文人たちの足跡を講義と史跡めぐりを交えて学び、郷土愛と市民意識の向上を図り、家族や地域へ伝承する機会とする。また、仲間づくりや生涯学習のきっかけづくり、我孫子市政や市民活動の現状などをテーマに取り入れ、市民活動の動機付けとする。	【日程】5月から12月の間で全12回コース 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」、「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」、「我孫子市の課題」、「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施 【参加者】36人 【場所】我孫子地区公民館ほか ※提案型公共サービス民営化制度導入事業	全12回の学習を通し、さらに我孫子について知りたいと意欲を持つ受講生や、市民活動に関心を持ち、参加検討される受講生も多く、継続学級も発生しており次のステップアップが大いに期待できる。	【開催場所】我孫子地区公民館 【日程】5月から12月の間で全12回コース 【募集人数】36人 ※応募が15名未満の場合は、講座は実施しない 【内容】 ・学習内容は、「我孫子の古代・中世」「白樺派の文人たち」、「史跡めぐり」、「手賀沼船上学習」「我孫子市の課題」「市民活動の現状」等 ・講義形式と実習形式で実施する。		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
49	市史調査研究	我孫子市内に残る古文書の解説や資料類の収集・調査研究を行い、報告書等を作成して市政や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 ・井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査を実施。 ●古文書管理 ・市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 ・和紙公図を専門業者に委託し、67点の地図を保存修復した。	失われつつある民俗文化財の聞き取り調査は、時間とたたかいであり、文字として記録できたことは貴重な機会となった。今後は記録を書籍として刊行するなど、公開していく必要がある。	●資料調査 ・井上家資料の資料目録作成にむけての資料調査。専門に従事する3号嘱託職員を採用し、読解とデータ作成をおこなう。 ●古文書管理 ・市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 ・和紙公図を専門業者に委託し、56点の地図を保存修復する予定(修復したもののデータ化を含む)。		文化・スポーツ課
50	郷土芸能への支援	郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を教育委員会の主催で実施した。 【日程】12月20日(日) 【場所】湖北地区公民館 【入場者】450人 【出し物】「神楽舞」「祭囃子」「寿獅子舞」など。 【出演者】「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」他	郷土芸能を保存と継承する市民団体と、小中学校の郷土芸能クラブの発表の場を提供することにより、広く市民に郷土芸の魅力を伝え、保存継承していくことの第一となった。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民俗芸能を発表する郷土芸能祭を教育委員会の主催で実施予定。 【日程】12月4日(日) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】「神楽舞」「祭囃子」「寿獅子舞」など。 【出演者】「古戸はやし連中」「あびこふるさと会」「ひよっこ睦」「布佐中郷土芸能講座」「第四小伝統芸能クラブ」「湖北小伝統芸能クラブ」「布佐小伝統芸能クラブ」他		文化・スポーツ課
51	文化財の指定調査と保存支援	指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 市指定文化財を増やし、保存につなげる。27年度は新たな市指定文化財としてヒカリモを指定した。 ●文化財保存基金 文化財保存基金募金箱を文化財施設に設置したほか、イベントに際して募金箱を持参し、市民に対し基金の主旨の宣伝を行って、協力を積極的にもとめた。文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行った。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。27年度は中里薬師堂薬師三尊像保存修復を実施した。 ●文化財の維持・管理 ・県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施した。 ・県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行い、現況調査を実施した。	指定文化財への保存支援については、所有者の意向を汲みながら、計画的に実施できるよう調整する必要がある。 指定文化財の追加については、文化財の重要性だけでなく、関係者同意に依る部分が多い。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 市指定文化財を増やし、保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 ・県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 ・県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。		文化・スポーツ課
52	埋蔵文化財発掘調査	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	市内遺跡発掘調査、不特定遺跡発掘調査、公共事業発掘調査、民間開発発掘調査を実施した。 案件が上がった際にできるだけ速やかに対応した。 【市内遺跡発掘調査】10件(昨年度11件) 【不特定遺跡発掘調査】1件(昨年度2件) 【公共事業発掘調査】0件(昨年度0件) 【民間開発発掘調査】5件(昨年度1件)	例年に比して民間開発発掘調査が多い中、調査を円滑に実施できた。 【発掘調査での成果の補足】	市内遺跡発掘調査、不特定遺跡発掘調査、公共事業発掘調査、民間開発発掘調査を実施する。 案件が上がった際にできるだけ速やかに対応する。		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
53	考古遺物整理	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	『下ヶ戸貝塚Ⅲ』、『平成27年度市内遺跡発掘調査』の2冊の報告書を刊行した。	下ヶ戸貝塚については報告書刊行3か年目にあたっており、貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	3冊程度の発掘調査報告書の刊行を予定している。		文化・スポーツ課
54	あびこ自然観察隊	環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を年4回実施する。実施にあたっては、鳥の博物館市民スタッフと協働で行う。 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 <<第1回>> 【内容】手賀沼のプランクトンと水鳥観察 【日程】7月29日(水)9:30~15:30 【参加者】24人 <<第2回>> 【内容】秋の谷津田観察会 【日程】10月17日(土)9:30~12:00 【参加者】4人 <<第3回>> 【内容】おーい！冬鳥くん 【日程】2月14日(日)9:00~12:30 悪天候のため中止 <<第4回>> 【内容】フクロウの鳴き声を探そう 【日程】3月5日(土)16:30~18:30 【参加者】16人	この観察会を通して我孫子の自然について、親しみをもって理解する機会の提供ができた。	【日程・内容・場所】 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 <<第1回>>「シギ・チドリに会いに行こう」5月15日(日) <<第2回>>「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」8月3日(水) <<第3回>>「鳴く虫観察会」9月3日(土) <<第4回>>「おーい！冬鳥くん」2月12日(日) <<第5回>>「春の谷津田観察会」3月20日(日・祝)		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
55	てがたん(手賀沼の自然観察会)	環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心をもち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を鳥の博物館市民スタッフと協働で実施。  【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで <<第1回>>4月11日 春の花・・・参加者5人 <<第2回>>5月9日 緑色の季節・・・参加者15人 <<第3回>>6月13日 初夏のイネ科植物・・・参加者27人 <<第4回>>7月11日 夏の水辺の生き物・・・参加者29人 <<第5回>>8月8日 手賀沼の魚・・・参加者35人 <<第6回>>9月12日 秋の虫・・・参加者22人 <<第7回>>10月10日 渡る生き物・・・参加者17人 <<第8回>>11月14日 カモいろいろ・・・悪天候のため中止 <<第9回>>12月12日 冬の散歩道・・・参加者21人 <<第10回>>1月9日 冬鳥を楽しむ・・・参加者24人 <<第11回>>2月13日 冬の散歩道Ⅱ・・・参加者8人 <<第12回>>3月5日 土と生き物・・・参加者17人 <<てがたんinJBF>>10月31日「あびこの鳥たち」・・・参加者21人 11月1日「あびこの鳥たち」・・・参加者16人	子どもから大人まで身近な自然に関心を持ちことができるような定点・定期の観察会を実施することができた。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。  【日程・内容】 毎月第2土曜日午前10時から正午まで <<第1回>>4月11日 春の花 <<第2回>>5月9日 緑色の季節 <<第3回>>6月13日 初夏のイネ科植物 <<第4回>>7月11日 夏の水辺の生き物 <<第5回>>8月8日 手賀沼の魚 <<第6回>>9月12日 秋の虫 <<第7回>>10月10日 渡る生き物 <<第8回>>11月14日 カモいろいろ <<第9回>>12月12日 冬の散歩道 <<第10回>>1月9日 冬鳥を楽しむ <<第11回>>2月13日 樹木ウォッチング <<第12回>>3月5日 土と生き物		鳥の博物館
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供							
56	子どもNPOボランティア体験	子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。  ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期:受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】小学生から大学生 【体験者数】 幼稚園1名、小学生134名、中学生72名、高校生33名、大学生6名、全体で延べ246名  ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回・・・夏休み前(7月頃)、冬休み前(11月頃) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など	延べ246名の体験者があり、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会の提供ができた。	指定管理者事業の一つとして実施。  ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】開催場所・時期:受入団体により異なる。 【対象】小学生から大学生  ●情報紙 年2回発行		市民活動支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
57	後期離乳食教室	乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	●後期離乳食教室 【日程】年18回実施 【場所】保健センター 【内容】食生活に関する健康教育、口腔に関する健康教育。 【対象】原則として、市内在住の8～9か月の児を持つ保護者 【参加者】275組	離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。	【日程】年18回実施 【場所】保健センター 【内容】食生活に関する健康教育、口腔に関する健康教育。 【対象】原則として、市内在住の8～9か月の児を持つ保護者		健康づくり支援課
58	しあわせママパパ学級	体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【開催回数】36回 【参加者】妊婦:148人(実)、327人(延)、夫・家族:126人(実)、246人(延)	適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が99.2%となっている。	【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース)		健康づくり支援課
59	離乳食教室	離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	●離乳食教室 【日程】年12回実施(毎月1回) 【場所】保健センター 【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【対象】原則として、市内在住の4～6か月の児を持つ保護者を対象とし、毎月1回(年間12回)実施。 【参加者】289組(昨年258組)	離乳食の進め方全般を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際のやり方の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわかり、不安の軽減につながった。	【日程】年12回実施(毎月1回) 【場所】保健センター 【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【対象】原則として、市内在住の4～6か月の児を持つ保護者を対象とし、毎月1回(年間12回)実施。		健康づくり支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
60	手賀の丘ふれあい宿泊通学	手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、学校に通いながら、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性などを育む機会を提供する。	<p>【日程】</p> <p>≪第1回≫7月8日(水)から7月10日(金) 2泊3日</p> <p>≪第2回≫9月30日(水)から10月 2日(金) 2泊3日</p> <p>≪第3回≫11月11日(水)から11月13日(金) 2泊3日</p> <p>【場所】</p> <p>千葉県立手賀の丘少年自然の家</p> <p>【対象】</p> <p>市内13小学校5～6年生</p> <p>【募集人数】第1回～第3回 各回32人</p> <p>【参加者】</p> <p>≪第1回≫31人(男15人 女16人)</p> <p>≪第2回≫27人(男12人 女15人)</p> <p>≪第3回≫28人(男15人 女13人)</p>	通学しながら他校の児童と共同生活を送ることによって自立心、協調性を育む一助となった。子どもの対応に精通したスタッフの確保が課題である。	<p>【日程】</p> <p>≪第1回≫7月6日(水)から7月8日(金) 2泊3日</p> <p>≪第2回≫9月7日(水)から9月9日(金) 2泊3日</p> <p>≪第3回≫10月26日(水)から10月28日(金) 2泊3日</p> <p>【場所】</p> <p>千葉県立手賀の丘少年自然の家</p> <p>【対象】</p> <p>市内13小学校5～6年生</p> <p>【募集人数】第1回～第3回 各回32人</p>	平成26年度事業仕分けに取り上げられ、廃止案では参加対象児童が2000人に対して150人程度の事業である為廃止と指摘を受ける。要改善案では現行プログラムに独自性が無い、見直しと目標達成のための工夫、ニーズの再把握が必要、行政が先頭に立つのではなく、社会教育団体の育成が必要との要改善の指摘を受ける。これらの指摘から、プログラムの内容を一部変更して実施するという方針とした。	子ども支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
61	あびこ子どもまつり	子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験しアビーという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	●あびこ子どもまつり あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市（共同主催）で、アビスタ、手賀沼公園を使用し、子ども達が主体となり、子ども達のまつりを実施した。 【日程】10月18日（日） 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施 【参加者】1,163人（有料入場者数）	・最近の子ども達の傾向として、体験活動やコミュニケーション不足が指摘されており、子ども達が企画段階から参画することや、子ども達が主体となったまつりに参加することは、貴重な社会体験の場となっている。 ・企画運営にあたる役員の後継者の発掘に苦慮をしている。	●あびこ子どもまつり あびこ子どもまつり実行委員会、我孫子市（共同主催）で、アビスタ、手賀沼公園を使用し、子ども達が主体となり、子ども達のまつりを実施 【日程】10月16日（日） 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施予定		子ども支援課
62	げんきフェスタ	市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行った。 【日程】6月21日（日） 【開催場所】湖北地区公民館及びその周辺 【参加者】773人（有料入場者数）	長年実施している事業なので、市民にも定着し、参加者も多い。様々な体験をすることで、豊かな心、社会性を育む機会となっている。	子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行う。 【日程】6月12日（日） 【場所】湖北地区公民館及びその周辺		子ども支援課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
63	enjoyパパ応援プロジェクト	子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。	<p>【対象】 就学前の子どもと父親</p> <p>●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・5月2日(土) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&amp;なでしこ〜フットサル〜」 父39人 子40人 ・7月26日(土) あびこ市民プラザ「かけっこ教室」 父58人 子73人 ・9月5日(土) ママへのごほうびフェスタ 父親参加延べ人数711人 ・10月24日(土) 我孫子市少年野球場「ゆうゆうボール」 父14人 子14人 ・12月19日(土) あびこ市民プラザ「マジックと音楽と絵本のコンサート」 父41人 子48人 ・平成28年1月24日(日) アビスタ調理室「簡単クッキング!!」 父10人 子12人 ・平成28年2月27日(土) アビスタホール「くぼたまさと工作教室」 父18人 子19人</p> <p>●広場でパパを楽しもう 【日程・場所・参加者】 《にこにこ広場「パパとあそぼう」》毎月1回 父179人 子198人 《すくすく広場「すくすくパパタイム」》原則毎週土曜日 父210人 子219人 《わくわく広場「わくわくファミリー」》不定期 父29人 子34人 《すこやか広場「みんなで遊ぼう!」》6月・9月・1月 父22人 子36人</p>	イベントへの父親参加数が増加(26年度972人が27年度1,367人)していることから、父親が子どもと関わる時間が増えてきているのがわかる。意識向上の成果がでている。	<p>【対象】 就学前の子どもと父親</p> <p>●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・6月5日(日) 我孫子市民体育館「サッカー講座:めざせJリーガー&amp;なでしこ〜フットサル〜」 50組 ・8月6日(土) あびこ市民プラザ「かけっこ教室」 2部制 各50組 ・9月3日(土) ママへのごほうびフェスタ ・10月22日(土) 我孫子市少年野球場「ゆうゆうボール」 20組 ・12月18日(日) あびこ市民プラザ「親子遊び」 50組 ・平成28年1月24日(日) アビスタ調理室「簡単クッキング!!」 12人 ・平成28年2月27日(土) アビスタホール「おちゃっぴ粘土教室」 50組</p> <p>●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 《にこにこ広場「パパとあそぼう」》毎月1回 《すくすく広場「すくすくパパタイム」》原則毎週土曜日 《わくわく広場「わくわくファミリー」》不定期 《すこやか広場「みんなで遊ぼう!」》6月・9月・1月</p>		保育課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
64	子育て支援施設における講習	子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	<p>市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行った。</p> <p>●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月2回～3回(年間23回) 【場所】にこにこ広場 【参加組数】184組 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談</p> <p>●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】①10月17日(土) ②12月1日(火) 【場所】にこにこ広場 【参加組数】①3組(大人5人 子ども2人) ②2組(大人3人 子ども1人)</p> <p>●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】5月28日、8月20日、9月10日、10月15日、10月29日、3月10日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回、わくわく広場・すこやか広場 年1各回 【参加組数】107組(大人107人 子ども117人)</p> <p>●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程】各広場にて年3回～4回(年間14回) 【場所】にこにこ広場、すくすく広場、わくわく広場、すこやか広場 【参加組数】194組(大人194人 子ども202人)</p> <p>●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所・人数】 9月5日(土) アビクオーレ 延べ7,731人(大人4,221人 子ども3,510人) 3月26日(土) あびこショッピングプラザ 延べ7,005人(大人3,761人 子ども3,244人)</p>	それぞれの広場の特色を生かし、利用者のニーズに合った様々な講座を行ったことで、参加者は、子育てに必要な情報を得るとともに、一緒に受けた保護者同士がつながりを広げており、子育て支援の周知・関心が高まっている。	<p>市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。</p> <p>●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回～2回(年間23回) 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談</p> <p>●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)年2回 【日程】10月8日(土)、12月6日(火) 【場所】にこにこ広場</p> <p>●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】5月26日、8月25日、9月8日、10月13日、10月20日、3月23日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回 計6回</p> <p>●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】 各広場年3回～4回(年間15回)</p> <p>●子育てフェスタ(株式会社イトーヨーカ堂との共催) 【日程・場所】 9月3日(土) アビクオーレ 3月未定 あびこショッピングプラザ</p>		保育課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
65	こども議会	次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にす。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	隔年事業のため実施なし		【日程】11月10日(木) 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表することも議員を招集し、市長のまちづくり方針に対することも議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】こども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議會議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用		指導課
66	長寿大学	高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくりに積極的に参加できるようにする。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」など柱として、平成27年4月から平成28年3月まで年間24回の学習プログラムで実施。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動。 【参加者】 ≪1年生≫54人 ≪2年生≫47人 ≪3年生≫48人 ≪4年生≫45人	卒業生及び在校生が、地域活動、まちづくりに参加する動機づけとなった。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」など柱として、平成28年4月から平成29年3月まで年間24回の学習プログラムで実施する。 ・運営、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動する。 【参加者】 ≪1年生≫51人 ≪2年生≫48人 ≪3年生≫47人 ≪4年生≫48人		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
67	成人式	大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	<p>【日程】平成28年1月10日(日)</p> <p>【場所】けやきプラザ ふれあいホール</p> <p>【対象者】平成7年(1995)4月2日から平成8年(1996)4月1日に出生した市内在住者</p> <p>《午前の部》我孫子・白山中学校区:672人</p> <p>《午後の部》湖北・布佐・湖北台・久寺中学校区:584人</p> <p>【式典企画】</p> <p>《午前の部》新成人代表者制作の「恩師からのビデオメッセージ」</p> <p>《午後の部》新成人有志団体による歌と新成人代表者制作の「恩師からのビデオメッセージ」</p> <p>【記念品】新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券</p> <p>【参加者】</p> <p>《午前の部》500人(出席率74.40%)</p> <p>《午後の部》440人(出席率75.34%)</p> <p>合計950人(出席率77.68%)</p> <p>《企画運営会議について》</p> <p>【日程・内容】</p> <p>新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進めた。</p> <p>《第1回》5月24日 平成27年成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換</p> <p>《第2回》6月21日 式典内容、記念品、役割分担等について検討</p> <p>《第3回》7月19日 式典企画及び記念品「図書カード」デザインの検討</p> <p>《第4回》8月23日 図書カードデザイン、役割分担、式典台本及び式典企画について検討</p> <p>《第5回》9月13日 式典台本及び式典企画について検討</p> <p>《第6回》10月25日 式典台本について検討</p> <p>《第7回》11月22日 本番の流れを確認、会議室でのリハーサル</p> <p>《12月リハーサル》12月6日 新成人代表による会場リハーサル及び「恩師からのビデオメッセージ」DVD試写</p> <p>《前日リハーサル》1月10日 舞台スタッフ及び新成人代表によるリハーサル</p>	市内小中学校卒業生12人の新成人代表者とともに、企画運営会議を開催し、式典企画や記念品の検討を行った。式典をとおして行政や市民活動への参加意識を持ってもらうこと、また地元への愛着を一層深めてもらうことにつながり、今後まちづくりを担う新成人にとって重要な機会となった。	<p>【日程】平成29年1月8日(日)</p> <p>【場所】けやきプラザ ふれあいホール</p> <p>【対象者及び人数】平成8年(1996)4月2日から平成8年(1997)4月1日に出生した市内在住者:平成28年4月20日現在1,255人</p> <p>《午前の部》我孫子・湖北・湖北台中学校区(未定):651人</p> <p>《午後の部》白山・久寺家・布佐中学校区(未定):604人</p> <p>【式典企画】新成人代表者制作の「おもいでアルバム」等(未定)</p> <p>【記念品】新成人代表者デザインのオリジナル図書カード500円券等(未定)</p> <p>《企画運営会議について》</p> <p>【日程・内容】</p> <p>新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。</p> <p>《第1回》5月22日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換(予定)</p>		生涯学習課
68	熟年備学	熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。	<p>【日程】5月から1月 13回</p> <p>【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設</p> <p>【内容】主に、定年退職を控えた方々を念頭に、人生の後半の生き方・過ごし方、心と身体管理、介護予防、終の棲家、現代の葬送事情、遺言と相続の講義や、シニア世代の食生活(実習)、終の棲家である施設の見学を実施。</p> <p>【対象】40歳以上の方 41人</p>	1年間の学習が終了した時点のアンケートでは、全般的に受講内容についての満足度が高く、各講座とも参考になったと答えた人が多く、今後の生活に役立つ情報と、話せる仲間を得ることができてよかったという意見が寄せられた。高齢者施設の見学、遺言と相続、シニアの食生活(調理実習)については特によかったという声が高かった。今年度初めて取り組んだ調理実習については、概ね好評であったが、実習室利用の人数制限や準備の面での煩雑さ等を考慮して、次年度は実施しない方向である。	<p>【日程】5月から1月 14回</p> <p>【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設</p> <p>【内容】主に定年退職を控えた方々を念頭に、人生の後半の生き方、過ごし方、地域活動への入り方、だまされないための暮らしと契約、終の棲家、心と体の健康維持、老前整理、遺言と相続、エンディング事情についての講義を行い、健康体操、高齢者施設の見学、介護のコツを学ぶ実習を行う。</p>		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
69	家庭教育学級	子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	<p>●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間の全14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント)全14回 【参加者】小学校1年生の子どもを持つ保護者47人</p> <p>●公開講演会 【演題】「このひとみ トーク&amp;ライブ 絵本『くまのこうちようせんせい』より」 【日程】12月10日(木) 【参加者】91人(学級生33人 一般参加者 58人)</p> <p>●プチ家庭教育学級 【日程】2月18日(木) 2月25日(木) 3月3日(木) 【場所】湖北地区公民館 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で3回シリーズで実施 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【参加者】11人</p>	<p>・仲間づくりを念頭に学習を行った結果、終了後に継続学級が立ち上がり、自主的な活動へと繋げることができた。 ・各回の学習についての満足度も高く、日常生活に活かし、実践するという目標も概ね達成できた。 ・家庭教育学級への参加が少ない湖北・布佐地区を考慮し、湖北地区公民館を会場にしてプチ家庭教育学級を実施したが、募集枠15人に対して11人が参加となった。欠席も少なく、意見交換や質疑応答の時間も十分に取れて、受講生の満足度が高まった。</p>	<p>●家庭教育学級 【日程】5月から1月の間で 年間14回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・フラワーアレンジメント) 公開講演会も含め全14回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者56人</p> <p>●プチ家庭教育学級 【日程】2月に3回 【対象】小学6年生までの子どもを持つ保護者を対象 【内容】家庭教育学級の講座の中から選んだ内容で2月に3回シリーズで実施 【場所】湖北地区公民館</p>		生涯学習課
70	のびのび親子学級	ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び湖北小学校校庭 【対象】平成23年4月2日から平成25年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】アビスタ火曜コース、アビス木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組</p> <p>●プチのびのび親子学級 【日程】2月9日・16日・23日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【人数】親子12組</p>	<p>年間を通して、共同作業が必要な調理や班単位でのミニレク、話し合い等を取り入れることで、親同士の横のつながりを深め、互いに支え合える仲間づくりの場となった。また、学習活動終了後には自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。</p>	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで(各コース全12回) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び湖北小学校校庭 【対象】平成24年4月2日から平成26年4月1日生まれの子(2、3歳児)と保護者 【人数】アビスタ火曜コース、アビス木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組</p> <p>●プチのびのび親子学級 【日程】2月7日・14日・21日 【開催場所】布佐小学校地域交流教室 【対象者】2、3歳児と保護者 【人数】親子12組</p>		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
71	アピコでなんでも学び隊	小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を拡げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<p>●アピコでなんでも学び隊 【内容・日程・参加者数】            ≪ROBOLAB教室 ロボットを作って動かしてみよう！≫7月4日 22人            ≪ヒップホップでカップダンス≫7月11日 19人            ≪五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう≫7月22日 23人            ≪磁石とコイルのパワーを探れ≫7月28日 午前23人 午後24人            ≪My望遠鏡で月を見よう！≫7月29日 20人            ≪科学で遊ぼう！≫7月31日 24人            ≪あら不思議カガミを使わない万華鏡！（小学校1～3年生）≫8月4日 24人            ≪あら不思議カガミを使わない万華鏡！（小学校4～6年生）≫8月5日 24人            ≪伝統の美・友禅染≫8月7日 13人            ≪生命の不思議発見！－メダカを通して－≫8月11日 24人            ≪卓球チャンピオンになろう！基本からゲームまで≫8月17日～21日 19人            ≪トライサイエンス（探査機を宇宙に送ろう）≫10月3日 24人            ≪英語でハロウィン≫10月24日 25人            ≪粉こねてピザをつくろう！（高校生とジョイント）≫11月24日 高校生ボランティア8人、参加者15人            ≪パンでクリスマスブーツをつくろう！≫11月28日 16人            ≪はじめての書初め≫12月5日 20人            ≪UFOオムライスと季節のサラダ≫1月23日 18人            【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館            【対象】小・中学生</p>	参加者との関わりを大切に、且つ興味、関心を高めてくれる講師によって満足度の高い講座を実施することができた。	<p>【日程】6月・7月・8月・10月・11月・12月・1月            【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館            【対象】小・中学生            【内容・定員】            ≪ROBOLAB教室 ロボットを作って動かしてみよう！≫ 22人            ≪ヒップホップでカップダンス≫20人            ≪伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技≫ 15人            ≪科学で遊ぼう！≫ 24人            ≪生命の不思議発見！－メダカを通して－≫ 24人            ≪五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう≫ 24人            ≪磁石とコイルのパワーを探れ≫24人×2回            ≪雪の結晶万華鏡をつくろう！≫24人            ≪My望遠鏡で月を見よう！≫ 20人            ≪卓球チャンピオンになろう！基本からゲームまで≫ 20人            ≪トライサイエンス（探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション）≫ 24人            ≪粉こねてピザをつくろう！（高校生とジョイント）≫15人            ≪パンでクリスマスブーツをつくろう！≫18人            ≪はじめての書初め≫22人            ≪UFOオムライスと季節のサラダ≫18人</p>		生涯学習課
72	子どものための舞台鑑賞事業	子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞してもらうため、プロ劇団による演劇鑑賞会を開催する。	<p>●子どものための舞台鑑賞            子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を、教育委員会主催で実施した。            ≪アートサーカスパフォーマンスくるくるシルクDX≫            【日程】平成28年1月23日（土）            【場所】けやきプラザ ふれあいホール            【参加者】360人            【出演】くるくるシルクDX</p>	開催については、市内で子ども達のために活動している団体と実行委員会を組織して、子どものニーズや子どもに見てもらいたいという視点を取り入れ、開催することができた。	子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施します。 【日程】平成29年1月予定 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【内容】子供向けの舞台公演を開催		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
73	成人・青少年への図書館サービス	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	<p>中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸し出した。また、講演会などの事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供</li> <li>・成人、青少年に対するサービスの企画運営</li> <li>・一般サービス選定会議の運営(週1回程度)</li> <li>・館内研修の実施</li> </ul> <p>【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 283,975人</p> <p>《講演会》 【テーマ】「常磐線・成田線今昔～我孫子地域の発展を中心に～」 【講師】白土貞夫氏(鉄道友の会参与) 【日程】11月29日(日) 【場所】アビスタホール 【参加者】120人</p> <p>《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月28日(水) アビスタ本館 23人 10月29日(木) 布佐分館 9人 10月30日(金) 湖北台分館 5人</p>	年間貸出利用者数を前年度と比較すると、1,527人減少(-0.5%)となったが、講演会、講習会は満員になるなど盛況であり、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスの提供を安定的に行うことができた。	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出する。また、講演会などの事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供</li> <li>・成人・青少年に対するサービスの企画運営</li> <li>・一般サービス選定会議の運営(週1回程度)</li> <li>・館内研修の実施</li> </ul>	図書館
74	児童への図書館サービス	子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等</li> <li>・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施</li> <li>・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援</li> <li>・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</li> </ul> <p>●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 762人 ②布佐分館 12回 111人</p> <p>●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 24回 224人 ②布佐分館 24回 183人</p> <p>●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 7回 68人 ②久寺家ステーション 6回 25人</p> <p>●子どものための科学実験講座 【日程】8月5日(水) 【場所・参加者】 ①布佐分館 34人 ②アビスタ本館 36人</p> <p>●よむよむラリー 【完了数】405人</p>	おはなし会では、児童や保護者に絵本の楽しさを伝えながら、図書館利用の促進を図った。親子で楽しむおはなし会は、布佐分館での開催が定期化したため、54人増(+6.6%)だった。おはなし会は、105人増(+34.8%)だった。子どものための科学実験講座の応募状況は毎年盛況であり、テーマを変えながら、科学読み物につなげて、成果を上げている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等</li> <li>・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、よむよむラリー、館内研修などを実施</li> <li>・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援</li> <li>・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</li> </ul>	図書館	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課	
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無		
75	子どもの読書活動推進計画の策定	「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条の規定に基づく「子どもの読書活動推進計画」を策定することにより、子どもの読書活動推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、子どもの読書や学習活動につなげる。	「子どもの読書活動推進計画」策定準備（課内での検討等）を行った。	平成28年度政策費として、アンケート調査費用を提出したが、予算はつかなかった。事業採択はされたので29年度以降の策定を目指して事務を進めていく。	「子どもの読書活動推進計画」策定準備（課内会議の開催、スケジュール・進め方・コスト等の検討）		図書館	
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実								
76	男女共同参画講演会の実施	男女共同参画に対する理解を図るため、男女共同参画をテーマにした講演会を開催する。	<p>●男女共同参画講演会</p> <p>【テーマ】仮称・明るく笑顔で過ごすための“気持ちの切りかえ”法</p> <p>【日程】6月27日（土）14時30分～16時</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【講師】宮下敏子さん（フリーアナウンサー）</p> <p>【内容】祖父を介護した時の思いや、日本仏教開祖の一人・最澄の「一隅を照らす」という言葉との出会いなど、ほろりとさせられるエピソードも交えて、周りの幸せを願うことで自らも幸せに、自分らしく過ごせると語ってくれました。また、参加者は「ありがとう」を「無邪気に」「感謝をこめて」など、4通りの方法で表現してみるなど、体験方式の講演会で楽しい時間が提供されました。</p> <p>【参加者】66人</p>	概ね好評だったが（アンケートで「よかった」との回答は79.6%）、中には「男女共同参画のテーマが感じられない」との意見もあった。講師やテーマについて、一考の余地がある。	●男女共同参画講演会	<p>【テーマ】「わたしの平成幸福論ノート」</p> <p>【日時】6月26日（日）14時～15時40分</p> <p>【場所】アビスタ・ホール</p> <p>【講師】水無田気流さん（詩人、社会学者。國學院大學経済学部教授）</p>		秘書広報課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
77	平和事業	今も世界の各地で起きている紛争の現実を知り、多くの市民が平和を大切にすることを強くし、さまざまな平和への取り組みにつなげるため、市民や市民団体と連携しながら市民会議や広島への中学生派遣等の平和に関する各種事業を行い、戦争や原爆の悲惨さを次の世代に伝える。	<p>●我孫子市平和事業推進市民会議、戦後70年運営委員会の開催 全14回開催</p> <p>●広島市への中学生派遣と発表会</p> <p>≪中学生派遣≫</p> <p>【参加者】各中学校から4人、計24人を派遣。</p> <p>【日程】8月5日(水)～7日(金)</p> <p>【内容】平和について発表会。また、広島の平和の灯から分火を受けた</p> <p>≪平和の集い≫</p> <p>第1部 広島派遣中学生による報告会</p> <p>第2部 「禎子鶴」寄贈・禎子物語朗読劇</p> <p>第3部 INORIコンサート IN Abiko</p> <p>【日程】12月6日(日)</p> <p>【会場】けやきプラザふれあいホール</p> <p>【来場者数】570人</p> <p>●平和祈念式典</p> <p>【日程】8月15日(土)9時30分～</p> <p>【場所】手賀沼公園「平和の記念碑」前</p> <p>【参加者数】90人</p> <p>【内容】式典で「平和の灯」点灯式を実施。式典後、アピスタで映画「アオギリにたくして」を上映</p> <p>●戦後70年記念平和事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和の灯」ガス灯の設置（手賀沼公園、平和祈念式典で点灯式）</li> <li>・中学生派遣の人数拡大</li> <li>・国際交流スピーチ大会(9月27日)、写真展(9月18日～30日)を開催</li> </ul> <p>【内容】平和をテーマにしたスピーチ大会とともに、被爆二世写真家 宮角孝雄氏の講演と写真展を実施</p> <p>【写真展来場者】509人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後70年 広島・長崎派遣中学生リレー講座「未来を生きる子どもたちへ」を小学校全13校で実施</li> <li>・戦後70年記念誌「祈り」を発行</li> <li>・戦後70年のホームページ(ブログ)の開設</li> </ul>	<p>●中学生派遣事業</p> <p>中学生派遣事業のスタートから10年が経ち、派遣経験を持つ若者が、さらに若い世代である小学生に戦争や原爆の悲惨さや平和の尊さを伝えていく「リレー講座」が新たにスタートし、戦争・原爆体験者を中心に行ってきた平和事業を、この先、戦争・原爆を体験していない世代が中心となって行っていく仕組みづくりのきっかけとなった。今後、勉強や部活、アルバイト等で忙しい大学生や高校生の協力者をどのように増やしていくかが、課題として挙げられる。</p> <p>●平和のシンボル</p> <p>「平和の灯」と「禎子鶴」を新たに平和のシンボルとして設置・展示した。今後は、これらをどのように発信していくかを工夫していく必要がある。</p>	<p>●平和事業推進市民会議・・・5回開催予定</p> <p>●中学生派遣・・・8月8日(月)から8月10日(水)まで、12人の中学生を派遣する。</p> <p>●派遣中学生による報告会・・・12月4日(日)けやきプラザ</p> <p>報告会と合わせて、長崎市との共催により、「戦争・原爆被災展」を実施する。</p> <p>●リレー講座・・・小学校全13校で実施予定</p>		企画課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
78	健康づくりに関する専門家によるセミナー	市民の自主的な健康づくりを目的に、運動、休養、口腔衛生、栄養等の生活習慣の話や、実践的な筋力アップ体操・ストレッチに関する情報を提供し、市民に正しい生活習慣についての理解を深め、現在の生活習慣を見直し、自分にあったアレンジを加え日常生活を改善してもらう。	<p>●骨粗しょう症セミナー 現在患者数は1300万人以上と言われている骨粗しょう症について、市民の方に関心をもっていただき、日頃からできる予防の実践や、発症している方、それに気が付いていない方に対する医療機関への受診を通して改善・病態進行の阻止につなげていただくため、専門家による骨粗しょう症セミナーを実施した。 【演題】医師による骨粗しょう症セミナー「骨粗しょう症と予防」 【日程】平成28年3月16日(水) 13時～15時 【場所】アビスタホール 【参加者】81名 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民(男性8名、女性73名) 【内容】 ○すがる整形外科医院院長の菅森毅士氏による講演 1.骨粗しょう症とは？ 2.骨粗しょう症になるとどうなるの？ 3.骨粗しょう症と骨折の予防 ○我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講演「カルシウムについて」 ○ロコモティブシンドロームについての説明、あびこ市民の歌健康体操(ロコトレバジョン)の実施 ○我孫子市で行っているがん検診についての説明、生活習慣についての説明</p>	アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が73%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が73%であり、7割以上の方が健康意識の向上につながった。また、アンケートの中で、がんやがんの予防などについての話についての要望も多く聞かれたため、今年度は骨粗しょう症の講演に加えてがん等についての話についても検討・実施していく。	<p>●骨粗しょう症セミナー 【演題】未定 【日程】平成28年11月～12月頃 【場所】未定 【内容・対象】我孫子市民100名程度。 内容については昨年度同様に医師による骨粗しょう症についての講演をメインに行い、それに関わる栄養(カルシウム)等の話や身体づくり(ロコモティブシンドローム予防)については継続し、要望の多かったがんについての話もがん検診の話に盛り込んで実施していく。</p>		健康づくり支援課
79	こころの健康講座	精神保健福祉に関心のある市民に、病気に対する正しい理解を深めてもらい、地域の支援者の増加を図る。年1回、3日間程度の講座を実施する。	<p>【日程】2月27日 【場所】我孫子南近隣センター 【参加人数】81人 【実施内容】 ≪ストレスに負けないこころと体のつくり方≫ 【講師】柏駅前なかやまメンタルクリニック院長 中山貴至氏 ≪訪問看護による精神障害者のケアについて≫ 【講師】わかさ訪問看護ステーション千葉氏 ≪まちかど相談室ってどういうところ？≫ 【講師】まちかど相談室松尾氏</p>	講演会では精神障害の基本的な知識と、障害を持った方が地域で生活していく方法を知っていただくことができた。また、まちかど相談室を知らない方も多く、我孫子の社会資源をPRすることができた。	<p>【内容】ひきこもりから精神疾患につながるケースが多いため、ひきこもりを防止するための家族向け講座を開催する予定。 ・講師に柏駅前なかやまメンタルクリニック院長 中山貴至氏に交渉予定 【場所】南近隣センター 【開催時期】秋～冬頃 【定員】80～100人前後 【対象】ひきこもりの家族や支援者</p>	平成28年度から障害者啓発事業と心の健康講座を統合し、メンタルヘルス啓発事業として、市と障害者まちかど相談室の共催という形で、事業を展開する。	障害福祉支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
80	失語症家族教室	失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	<p>●失語症家族教室 失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行った。</p> <p>【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【参加者数】延べ10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料</p>	広報等で周知を図っているが、参加者数が増えない。広報活動の強化を検討する。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。		(障害者福祉センター)
81	手話講習会・読話講習会	中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	<p>●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、読話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「読話講習会」を開催した。初心者向けに、読話の基礎を扱った。</p> <p>【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【参加人数】23名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料(テキスト代のみ実費負担) *情報補償として、要約筆記者を配置</p>	講習会を通して、読話の基礎の習得及び当事者間の交流が促進された。読話の基礎を学ぶ機会を提供した。	<p>●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「手話講習会」を開催する。初心者向けに、手話の基礎を学ぶ。</p> <p>【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料(テキスト代のみ実費負担) *情報補償として、要約筆記者を配置</p>		(障害者福祉センター)

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
82	家族介護教室	要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。	<p>市内4カ所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。</p> <p>《我孫子地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族介護者のための心と体のリフレッシュ」</li> <li>【日程】7月21日(火) 【場所】我孫子市民プラザ和室 【参加者】7名</li> <li>・「ケアメン倶楽部『男の料理教室』」</li> <li>第1回 【日程】9月17日(木) 【場所】アビスタ調理室 【参加者】5名</li> <li>第2回 【日程】11月18日(水) 【場所】アビスタ調理室 【参加者】5名</li> <li>第3回 【日程】2月18日(木) 【場所】アビスタ調理室 【参加者】9名</li> </ul> <p>《天王台地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症ってなんだろう！」</li> <li>第1回 【日程】5月12日(火) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】39名</li> <li>第2回 【日程】7月16日(木) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】30名</li> <li>・「認知症を知って予防しよう！講座」</li> <li>第3回 認知症を防ぐ生活習慣 笑い編 【日程】9月29日(火) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】34名</li> <li>第4回 認知症を防ぐ生活習慣 食生活編 【日程】11月13日(金) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】16名</li> <li>第5回 認知症を防ぐ生活習慣 運動編 【日程】1月26日(火) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】39名</li> <li>第6回 認知症サポーターになろう 【日程】3月17日(木) 【場所】天王台北近隣センター 【参加者】17名</li> </ul> <p>《湖北・湖北台地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホクホク介護教室」</li> <li>第1回 『老後の備え』 【日程】6月24日(水) 【場所】湖北台近隣センター 【参加者】81名</li> <li>第2回 『知っておきたい認知症の知識』 【日程】9月8日(火) 【場所】特別養護老人ホーム久遠苑 【参加者】55名</li> <li>第3回 『知っておきたい認知症の知識』 【日程】11月6日(金) 【場所】湖北台近隣センター 【参加者】44名</li> <li>第4回 『介護職の基本(調理実習)』 【場所】湖北地区公民館調理室 【参加者】9名</li> <li>・「転ばないための運動教室～ロコモと転倒予防～」</li> <li>【日程】12月10日(木) 【場所】湖北台近隣センター 【参加者】43名</li> </ul> <p>《布佐・新木地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「老後の備え」 【日程】12月10日(木) 【場所】ふさの風近隣センター 【参加者】47名</li> </ul>	合計480名の教室への参加があった。認知症予防や生活習慣、転倒防止のための運動、家族介護への知識の習得に加え調理実習等と交流、自分自身が健康に生活するための知識習得を進めることができた。	市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として、年間2回を目安に開催する。		高齢者支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
83	認知症の方の家族のつどい「あびこ・こほく」	認知症の症状のある方を介護している家族が、同じ悩みを抱える家族間で交流を図り、介護方法などの情報交換を行うことにより、家族の負担の軽減や不安の解消を図る。認知症高齢者とその家族の方が安心して暮らせることができるよう支援を行う。	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言</li> <li>・参加者同士の情報交換</li> <li>・家族間の交流</li> <li>・各会場年2回認知症の人と家族の会千葉県支部から世話人</li> </ul> <p>【対象】 認知症の症状のある方を介護している家族</p> <p>《あびこ》 【日程】偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催（千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業） 【場所】けやきプラザ 1F工作室 【参加者】延43人</p> <p>《こほく》 【日程】奇数月の第4金曜日を基本とし、年6回開催 【場所】保健センター 3F大会議室 【参加者】延21人</p>	延べ64名の参加があり、アンケートでは「参加により不安の軽減できたか」100%であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。課題として、「こほく」会場の参加者が減少しており、事業目的である参加者同士の交流が難しくなっている。平成28年度より「こほく」「あびこ」会場を統合することで多くの参加者が集い交流を図れるようにしていく。	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催 【場所】けやきプラザ7階研修室 【参加対象者】認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流		高齢者支援課
84	健康生活月間講演会	自分らしく健康な生活を続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。	<p>【日程】平成27年11月12日(木)</p> <p>【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール</p> <p>【内容】今日からできる！脳の活性化（認知症予防講演会）</p> <p>【対象者】市民</p> <p>【定員】450人</p> <p>【参加者】379人</p>	講演会に379名が参加。講演会参加者のうち、『わかりやすい』91.8%であり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。例年200人以下の参加者であったが、平成27年度は定員450人に対し379名の参加と大幅に参加者が増加した。平成27年度は、ひきつけるテーマやタイトル、目立つちらし・ポスター構成が集客にも効果があったと考えられるため、次年度の参考としていきたい。	《講演会》 【日程】平成28年11月17日(木) 【場所】けやきプラザ2Fふれあいホール 【内容】口腔に関する講演会(題未定) 【対象】市民 【定員】450人		高齢者支援課
85	高齢者虐待防止講演会	高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。	隔年事業のため実施なし		【日程】平成29年2月11日 【時間】午後1時30分から午後3時30分まで 【場所】アビスタホール 【定員】150名 【対象】市民 【参加費】無料（講師調整中）		高齢者支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
86	遊具うんどう教室	生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	<p>【日程】            ≪湖北台中央公園≫毎月第3火曜日            ≪天王台西公園≫毎月第3金曜日            ≪布佐南公園≫毎月第2水曜日            ※雨天の場合には、中止            【対象】概ね65歳以上の方</p>	市内3ヶ所に設置のうんどう遊具が設置から15年以上経過し、老朽化や破損等による補修の必要性が多く出てきている。	<p>【場所・日程・参加者】            ≪湖北台中央公園≫毎月第3火曜日            ≪天王台西公園≫毎月第3金曜日            ≪布佐南公園≫毎月第2水曜日            ※雨天の場合には、中止            【対象者】概ね65歳以上の方</p>		高齢者支援課
87	環境学習の推進	小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	<p>≪手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&amp;観察と船上パードウォッチング～≫            【日程】7月29日(水)            【場所】手賀沼親水広場水の館3階研修室            【対象】小学生            【参加者】小学生11人、保護者5人、幼児1人</p> <p>≪紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～≫            【日程】7月22日(水)・8月3日(月)            【場所】アビスタ工芸工作室            【対象】小学生            【参加者】            7月22日：小学生19人、保護者13人、幼児1人            8月 3日：小学生19人、保護者13人、幼児1人</p> <p>≪船から見る手賀沼のふしぎ≫            【日程】7月24日(金)            【場所】手賀沼公園            【対象】小学生            【参加者】小学生12人、保護者11人、幼児2人</p>	3つの環境学習全てで定員には満たなかったが、保護者にも参加してもらうことで広い世代に環境学習が行えた。	<p>【日程・場所・対象】            ≪手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&amp;観察と船上パードウォッチング～≫            8月3日(水) 鳥の博物館講堂 小学生12人(3年生以下保護者同伴)            ≪紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～≫            7月21日(木)・28日(木) アビスタ工芸工作室            小学生20人(3年生以下保護者同伴)            ≪船から見る手賀沼のふしぎ≫            7月27日(水) 手賀沼公園 小学生20人(3年生以下保護者同伴)</p>		手賀沼課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課	
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無		
88	消費生活講座	消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	<p>●ふれあいサロン</p> <p>①【日程】6月16日(火)【場所】福田宅【対象者】天子山ふれあいサロン会員及びボランティア【参加者】15名</p> <p>②【日程】1月15日(金)【場所】湖北地区公民館【対象者】高齢者【参加者】38人</p> <p>③【日程】2月24日(水)【場所】湖北台市民センター【対象者】高齢者【参加者】35名</p> <p>●出前講座</p> <p>①【日程】4月2日(木)【場所】中央学院大学【参加者】400名</p> <p>②【日程】7月9日(木)【場所】長寿大学【参加者】50名</p> <p>③【日程】7月14日(火)【場所】さつきの会【参加者】55名</p> <p>●消費生活講座</p> <p>【テーマ】今日から始める「老い支度」～自分らしく暮らすために～</p> <p>【講師】明石 久美(相続・終活コンサルタント、明石シニアコンサルティング代表)</p> <p>【日程】10月30日</p> <p>【場所】アビホール</p> <p>【参加者】73名</p>	消費者が悪質詐欺などの消費者被害に遭わないための情報提供をパンフレットの配布や掲示物で発信していきつつ、この生活展では、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し安全・安心で豊かな生活を送れるよう各市民団体が情報を発信する機会や団体同士の情報交換の場の提供ができた。	●ふれあいサロン	<p>【日程・場所】</p> <p>①【日程】4月6日【場所】こもれび【定員】60名</p> <p>②【日程】4月7日【場所】アビスタ【定員】35名</p> <p>③【日程】4月21日【場所】アビスタ【定員】35名</p> <p>●出前講座</p> <p>①【日程】10月3日、11日、13日、14日【場所】我孫子中学校</p> <p>②【日程】10月23日【場所】長寿大学</p> <p>③【日程】2月22日【場所】平和台地区かえで</p> <p>●消費生活講座</p> <p>具体的な内容は未定</p>		商業観光課
89	緑の講習会	ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。	<p>●緑の講習会</p> <p>＜剪定講座(座学)＞</p> <p>【日程】4月23日(木)【場所】気象台記念公園【参加者】14人</p> <p>＜初夏を彩るキッチンハーブの寄せ植え＞</p> <p>【日程】5月20日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】24人</p> <p>＜グリーンボランティア養成講座～花壇をつくろう～＞</p> <p>【日程】5月28日(木)【場所】気象台記念公園【参加者】12人</p> <p>＜苔玉の基礎と応用＞</p> <p>【日程】6月25日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【参加者】15人</p> <p>＜ハンギングバスケットづくり＞</p> <p>【日程】7月11日(土)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【参加者】25人</p> <p>＜自分でできる庭木の管理術＞</p> <p>【日程】9月26日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】54人</p> <p>＜山野草を採り入れたミニ盆栽講座＞</p> <p>【日程】10月28日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】13名</p> <p>＜クリスマスリース＞</p> <p>【日程】11月18日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【参加者】37人</p> <p>【合計参加人数】193人</p>	毎年開催しているクリスマスリースづくりの講座や自分のできる庭木の管理術(剪定講座の雑学)については定員を大幅に超える応募があり市民の関心が伺える。反面、気象台記念公園で行うアウトドアでの講座は、天候に左右されることから参加者定員を下回る減少となっている。市民が興味を持ち、参加しやすい内容としたことから、年間の延べ参加人数は、昨年度の178人より15人増えて193人となった。	●緑の講習会	<p>＜剪定講座(座学)＞</p> <p>【日程】4月23日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】30人</p> <p>＜ハンギングバスケット＞</p> <p>【日程】4月27日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜剪定講座(実技)＞</p> <p>【日程】5月11日(水)【場所】気象台記念公園【定員】20人</p> <p>＜庭造りの第一歩・草花の育て方＞</p> <p>【日程】5月26日(木)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜ハーブの寄せ植え＞</p> <p>【日程】6月8日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜初夏の寄せ植え講座＞</p> <p>【日程】6月26日(日)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜親子で楽しむ多肉植物の寄せ植え＞</p> <p>【日程】7月22日(金)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜ミニ盆栽づくり講座＞</p> <p>【日程】9月17日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人</p> <p>＜秋の剪定講座(座学)＞</p> <p>【日程】10月9日(日)【場所】アビスタ第二学習室【定員】20人</p> <p>＜クリスマスリースづくり＞</p> <p>【日程】11月18日(金)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人</p>		公園緑地課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
90	栄養教諭を中核とした食育推進事業	<p>食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。</p> <p>家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる教室を開催する。</p>	<p>・学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行った。</p> <p>・6月に食生活アンケートを実施し、児童・生徒・保護者の食生活の実態を把握した。</p> <p>・8月に豆・豆製品の利用をテーマに市内3カ所で親子対象ヘルシークッキング教室を開催した。</p> <p>他1カ所で保護者、2カ所で親子の参加する料理教室を開催した。</p> <p>●ヘルシークッキング教室 【日程】8月 4日 【場所】アビスタ・近隣センターこもれび・湖北地区公民館 【内容】豆・豆製品のパワーを知ろう 【対象】親子 【参加者】73人</p> <p>●親子料理教室 【日程】11月 9日 【場所】布佐南近隣センター 【内容】10分のできる朝ごはんメニュー 【対象】親子 【参加者】11人</p> <p>●親子料理講習会 【日程】12月 21日 【場所】新木近隣センター 【内容】手軽にできる手作りおやつ 【対象】親子 【参加者】36人</p> <p>●保護者料理教室 【日程】11月 17日 【場所】湖北地区公民館 【内容】10分のできる朝ごはんメニュー 【対象】保護者 【参加者】8人</p> <p>●残菜調査 【日程】11月 【場所】市内小中学校19校 【内容】学級別・献立別残菜率を計測、算出 【結果】小学校平均4.1%、中学校平均1.1% 全校平均3.0%</p> <p>●授業研究会 他の教職員との研究協議を通じて栄養教諭・栄養職員としての指導力向上を図った。 【実施回数】7回</p>	<p>安全でおいしい学校給食を活かした食育指導を計画通り実施することができた。</p> <p>ヘルシークッキング教室は、親子を対象としたことで、参加希望者が増えたが、申し込み者数の状況から、関心が少ない湖北・布佐地区で、より参加しやすい場所で、親子料理教室、親子料理講習会を開催し、2カ所は親子を対象として実施した。来年度は、ヘルシークッキング教室の実施がアビスタのみとなるため、地区別の親子を対象とした料理教室を夏休みに実施することとした。</p> <p>食生活アンケートについては、内容について検討し、調査項目を絞った。</p> <p>11月に全校で実施した学級別残菜調査を、給食指導にいかした。</p>	<p>・学校給食を教材とし、教科・給食指導・献立表・食育だより等を通して食に関する指導を行う。</p> <p>・6月に全校児童生徒を対象として我孫子産米・我孫子産野菜の認知度と朝食摂取状況に関するアンケートを実施する。</p> <p>・8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子料理教室を開催する。</p> <p>・11月に全校で学級別残菜調査を実施する。</p> <p>・授業研究会を年6回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図る。</p>		学校教育課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
91	生涯学習出前講座の運営	市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行うことで、市民の主体的な学習の機会を充実と意識啓発を図り、市民の市政に関する理解を深めるとともに、地域の学びの広がりをつくることにより、市民と市の協働による生涯学習を通じたまちづくりを推進する。	<p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行った。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。</p> <p>●出前講座 【講座数】(平成28年3月31日現在) 市役所メニュー 78講座 市民講師メニュー 136講座 キャンパスメニュー 37講座 【年間利用状況】 件数:179件(うち市民講師講座:70件、キャンパスメニュー講座:15件) 人数:3,674人(うち市民講師講座:1,017人、キャンパスメニュー講座:338人)</p> <p>≪出前講座PR展示≫ 【日程】9月16日～9月29日 【場所】アピスタ 2F展示スペース</p>	<p>出前講座の制度を市民グループに利用してもらうことで、市民の主体的な生涯学習活動を支援することができた。</p> <p>パネル展示で市民講師メニューの紹介を行ったり、メニュー表を市内に配布することで、制度の周知に繋がった。</p> <p>利用者アンケートの結果では、高い満足度を得ることができた。</p>	<p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。</p> <p>出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図る。</p> <p>9月にPR事業として展示を行う。</p>		生涯学習課
92	生涯学習普及啓発事業	我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、情報紙による学習情報提供や講演会等、学習の場の提供を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習普及啓発事業を開催する。	<p>●生涯学習推進事業「人は、なぜ走るか?～古代オリンピックの最初の競技は“かけっこ”だった～」 【日時】平成28年2月6日(土) 午前9時30分～午後4時00分 【場所】川村学園女子大学 【内容・参加者(延べ人数)】 2020年に行なわれる東京オリンピック・パラリンピック大学連携プロジェクトの一環として川村学園女子大学と連携し、楽しく走り続けるコツや早く走るためのヒントなど、運動の基本である“かけっこ”に焦点をあて、早く・楽しく・続けられるコツやヒントなどスポーツの理解を深めることを目的に開催しました。</p> <p>&lt;午前の部&gt; ・小出義雄氏講演会～かけっこ人生～ 233人 &lt;午後の部&gt; ・かけっこ教室～早く走るためのヒント!～ 88人 ・ジョギング教室～楽しく走り続けるコツ!～ 33人 &lt;1日事業&gt; ・ニューススポーツを体験しよう! 61人 ・中央学院大学駅伝部パネル展示 ・スポーツ用品展示販売 ・学生食堂体験 160人 【共催】川村学園女子大学 【後援】我孫子市体育協会・我孫子市陸上競技協会・我孫子市小中学校体育連盟 【協賛】アシックスジャパン(株)・(有)藤倉運動具店・アクティオ(株)・(株)フクシ・エンタープライズ 【協力】中央学院大学駅伝部、我孫子高等学校陸上競技部</p> <p>●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として、年3回発行。本年度から自治会配布を実施した。 【発行日】6月16日、9月16日、12月14日 【印刷部数】各7000部</p>	<p>「人はなぜ走るか?」でのアンケートでは、164の回答のうち「満足」「やや満足」が153件と93%の方から満足との回答があり、多くの方に生涯学習機会の提供ができた。</p>	<p>●あびこ楽校ニュース 【発行予定日】4月16日、7月16日、10月16日、1月16日 ●卒サラ講座 9月24日、10月 講座PRにあわせて生涯学習のPR展示を行う。</p> <p>●夏休み絵本朗読会 &amp; アニメ映画会 夏休みに行う視聴覚ライブラリーのアニメ映画会に合わせて、絵本の朗読会を行う。</p>	<p>平成28年度より、あびこ楽校協議会と社会教育委員が統合となり、生涯学習審議会発足するため“あびこ楽校協議会生涯学習振興事業”の代替事業として実施する。</p>	生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
93	人権教育	地域で活動する社会教育関係者を対象に社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動にいかしてもらう。	<p>●社会人権地区別研修会 【日程】6月11日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】講演「インターネットにおける人権侵略への対応」講師 桑子博行氏(違法・有害情報相談センター長)</p> <p>人権啓発ビデオ視聴 分散会「各市町村教育委員会における人権教育の推進について」等</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月～10月 【場所】千葉県総合教育センター 他 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】7月15日(水) 講演「私らしく生きる-光を失っても-」野田市視聴覚障害者協会理事 中村 和子氏 8月28日(金) 講演「被差別部落の歴史」千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平氏 9月17日(木) 講演「しいたげられた子どもたちの姿から」児童養護施設「野の花の家」統合施設長 花崎 みさを氏 10月23日(金) 学校人権教育指導者研修の受講者と合同研修 講演「学校で情報モラルをどう指導するか？」 江戸川大学メディアコミュニケーション学部 情報文学科 玉田 和恵教授</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月16日 【場所】さわやかちば県民プラザ 【出席者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習職員 25名 【内容】講演「性別で見る多様性と人権」～セクシュアリティー概論～ 講師 ダイバーノン代表 飯田 亮留氏</p>	現代社会の中で起きているさまざまな人権問題について考え、各市町村の抱えている問題について情報交換を行った。 また、市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員に研修の機会を提供することで、すべての人を個人として尊敬し、思いやりの心を持って助け合い、共に生きる気持ちを育てることができた。	<p>●社会人権地区別研修会 【日程】6月9日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者(我孫子市:出席者1名) 【内容】講演「子どもが危ない！ ネット人権侵害」講師 佐藤 佳弘氏(情報文化総合研究所長) 人権啓発ビデオ視聴 分散会「各市町村教育委員会における人権教育の取り組みについて」等</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】7月～10月 【場所】千葉県総合教育センター 他 【出席者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月15日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【出席者】市内小中学校PTA、教育委員、社会教育委員、指導課職員、生涯学習職員 25名 【内容】講演「絶望の中から希望の光を見つけるまで・・・～家族の愛とことばの力」 講師 エメラルドサポート㈱代表取締役社長 佐藤 尚美氏</p>		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
94	スポーツ教室事業	我孫子市にゆかりのある優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かし、スポーツ教室を行う。	26年度までは、プロ野球選手、地元ラグビーチームを招き、少年野球教室、タグラグビーを実施していたが、特定の種目に偏ってしまうため、27年度は教室を開催せず28年度実施に向けた検討を行った。	特定のスポーツ教室開催になってしまっている。様々なスポーツ体験ができる事業を考えていく。	ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成28年4月24日 【人数】午前の部：49組、午後の部：128人 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から中学1年生までの児童、生徒		文化・スポーツ課
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、地域の小学校を取り込み、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	●スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ 【日程】2月27日 【場所】並木小学校、我孫子三小学校、布佐南小学校 【参加者】675人	開催場所を固定化せずに様々な場所でスポーツを行いながら地域のスポーツ振興を図る。	【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【時期】平成29年2月25日(土) 【対象者】児童から高齢者まで広く		文化・スポーツ課
96	鳥の博物館企画展	鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	企画展示 【内容・日程】 第71回企画展「鳥の鳴き声展」H27. 2. 27～6. 28 第72回企画展「アホドリ展～復活への挑戦～」H27. 7. 11～9. 6 第73回企画展「飛んでる鳥展～飛翔型標本コレクション～」H27. 9. 12～12. 6 第74回企画展「友の会展」H27. 12. 12～H28. 1. 24 第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」H28. 2. 6～6. 26	季節性や話題性に富んだテーマを取り上げ、また収蔵標本を効果的に利用し、さらしい山階鳥類研究所など関連施設と連携した企画展を実施することができた。この結果、多くの市民の関心を集め、利用を促すことができた。	企画展示 【内容・日程】 第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」H28. 2. 6～6. 26 第76回企画展「我孫子の鳥図鑑～市内で見られる鳥全種の標本～」H28. 7. 9～11. 6 第77回企画展「鳥の子育て～ジオラマで見る鳥の繁殖～」		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり							
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実							
97	市民農園維持管理事業	消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しむ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<p>●年間を通じた市民農園の維持管理</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃)</li> <li>・農園利用者の募集(12月「広報あびこ・ホームページ」に掲載)</li> <li>・利用者決定に伴う契約事務</li> <li>・農園利用料の徴収</li> <li>・日秀新田市民農園について、法面対策工事を行なった。</li> <li>・高野山ふれあい市民農園のあり方について検討を行なった。(平成28年度で閉園)</li> </ul> <p>【市民農園の詳細】</p> <p>《高野山ふれあい市民農園》 総区画243区画うち利用区画数69区画</p> <p>《秀新田市民農園》 総区画114区画うち利用区画数93区画</p> <p>●体験イベント</p> <p>《じゃがいも収穫イベント》</p> <p>【日程】6月20日</p> <p>【場所】日秀新田市民農園</p> <p>【参加者】35人</p> <p>《芋ほりイベント》</p> <p>【日程】10月24日</p> <p>【場所】日秀新田市民農園</p> <p>【参加者】34人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に農業体験の場を提供した。</li> <li>・日秀新田市民農園について、管理委託者と連携し、農作物収穫体験イベントを実施し、農園の魅力アップを図った。</li> </ul> <p>【高野山ふれあい市民農園の閉園理由】</p> <p>農園利用者数や民間農園(農家開設型農園)の状況等を総合的に検討した結果、平成28年度末をもって閉園することとした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き市民が土に触れ、交流の場となる市民農園を提供する。</li> <li>・日秀新田市民農園について、利用率の向上を目的とし、管理委託者と連携しながら各種イベントの企画・運営を行い、農園の魅力アップを図る。</li> <li>・高野山ふれあい市民農園閉園に伴い、今後の利用方針について検討を行う。</li> </ul>		農政課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	水質保全や水環境、エコ農業といった環境学習について、掲示などを用いて情報発信する。プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営する。	<p>●講座・イベント 【日程・参加者】 《星空解説員による生解説》 8月8日、105名 8月16日、135名 《天文愛好家によるプチ講座》 8月23日、135名 8月30、98名 《星空解説&amp;観望会》 8月27日、81名</p> <p>イベント合計 554名</p> <p>●プラネタリウム投影事業 【参加者】6,427名</p> <p>[内訳] 《7月》544名 《8月》1,517名(イベント554名含) 《9月》684名 《10月》709名 《11月》695名 《12月》432名 《1月》699名 《2月》487名 《3月》660名</p>	プラネタリウムの投影を行い、水環境保全啓発施設として運営できた。	プラネタリウム投影事業を実施する。7月以降は、水の館が改修工事で休館となるため、事業の開催はできない。		手賀沼課
99	ふれあい工房の運営管理事業	クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具パッケージ等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	<p>●各種リサイクル教室 【内容】傘の布で買い物袋作り、牛乳パックでミニ椅子作り、小袋作りコーナー、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、和服のリフォーム、他 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合があります)</p>	アドバイザーによるリサイクルの技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上を図れた。  【課題】 ふれあい工房の運営スタッフやリサイクル教室の指導に当たる技術アドバイザーが高齢化により集まらなくなってきている。	<p>●各種リサイクル教室 【内容】傘の布で買い物袋作り、牛乳パックでミニ椅子作り、小袋作りコーナー、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、和服のリフォーム、他 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合があります)</p>		クリーンセンター

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
100	新たな文化交流拠点施設整備の検討	新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書などを踏まえ、施設の機能や建設候補地などを建設構想案として取りまとめ、議会や市民の意見を聴きながら、さらに検討を進めていく。	「我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書」に対する市民や議会からの意見や課題の整理を行った。	財政シミュレーションや公共施設等総合管理計画との整合を図る必要があるが、計画策定が平成27年度末以降となったため建設構想案をとりまとめることはできなかった。	「我孫子市文化交流拠点施設整備専門家会議」からの提案、これまでにいただいた意見及び公共施設等総合管理計画等も踏まえながら、庁内検討委員会で概算事業費と今後の財政の見込みとの比較検討を行い、建設構想案の策定を行う。		企画課、生涯学習課
101	地域交流教室の提供	学校の一部を市民の学習拠点として有効活用し、学習サークルや自治会などに学習の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用推進のためホームページ、広報等で情報提供・利用募集を行った。</li> <li>【提供時間】</li> <li>・月～日曜日の9～21時(ただし、高野山小学校は、月～金曜日の17～21時及び土・日曜日の9～21時)</li> <li>【提供場所】</li> <li>第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室</li> <li>湖北台東小学校:2教室</li> <li>【利用件数】</li> <li>第一小学校:558件</li> <li>布佐小学校:133件</li> <li>湖北台西小学校:458件</li> <li>高野山小学校:442件</li> <li>湖北台東小学校(2教室):1,363件</li> <li>合計:2,954件</li> </ul>	市民の学習ニーズに対応する生涯学習施設が不足する中、地域の生涯学習等の活動の場として広く市民に利用された。 利用件数の対前年度比:10% ・教室の利用率(利用コマ数/総コマ数):64%	市民の生涯学習を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRしていく。 ・高野山小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時に開放時間を変更する。 ・7月1日から使用料として4時間ごとに100円徴収する。		生涯学習課
102	公民館施設管理運営	生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施。 総合管理運営委託(51,840,000円) 修繕・・・ミニホール照明修繕(840,240円)、学習室照明修繕5箇所(258,433円)、消防用設備修繕(151,200円)、排煙窓ダンパー(162,000円)など 定期点検・・・建築設備定期検査(280,800円) 備品購入・・・MD/CDデッキ購入(97,200円) 草刈業務・・・2階スロープ草刈業務(108000円)	開館より10年以上が経過し、施設の修繕箇所が多くなってきている。総合管理運営業務受託者より長期修繕計画が提出されているため、修繕箇所に優先順位をつけながら予算の確保・修繕の実施が必要。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進める。 また、施設の修繕や定期点検を実施する。 ・修繕・・・消防用設備修繕、中水系統加圧ポンプ修繕、第2学習室カーテン修繕、和室襖・障子張替えなど ・定期点検・・・建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入・・・ミニホールプロジェクター ・樹木剪定、草刈業務		生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課	
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無		
103	湖北地区公民館空調設備更新工事	施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	<p>平成26年度に実施した空調設備更新工事設計を元に、ホール・ロビー系統の空調設備更新工事を実施。</p> <p>また、設計業者に工事監理を委託。</p> <p>※工事及び工事監理にかかる予算から起債対象外(処分費)を除いた金額の75%を起債、25%を市一般財源にて支出。</p> <p>○工事 受注業者:(株)大富 受注額:122,763,600円 工期:平成27年7月11日から12月18日まで</p> <p>○工事監理 受注業者:(株)環境設備計画 受注額:3,942,000円 期間:平成27年7月11日から12月25日まで</p> <p>○起債 対象内 工事:119,985,000円 工事監理:3,852,000円 対象内合計:123,837,000円 対象外 工事: 2,778,000円 工事監理: 90,000円 対象外合計: 2,868,000円</p> <p>対象内財源内訳:起債92,800,000円 一般財源:31,037,000円</p>	空調設備の更新工事に伴い、施設利用者にとってより快適な学習環境になってきている。	平成26年度に実施した空調設備更新工事設計を元に、調理室・和室・工芸工作室・第2学習室・第3学習室・資料室・調光室の空調設備更新工事を行う。	また、設計業者に工事監理を委託する。	※工事及び工事監理にかかる予算から起債対象外(処分費)を除いた金額の75%を起債、25%を市一般財源にて支出する。	生涯学習課
104	フリースポット(Wi-Fi)の提供	無線LAN(Wi-Fi)の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN(Wi-Fi)を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	2階オープンスペースにてインターネット環境の提供をした。	人数、接続時間等は把握できていないが、より学習環境が快適になってきている。	2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をする。		生涯学習課	

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
105	施設予約システムの運用	公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	ちば施設予約システムを利用(平成27年度より) 団体利用人数:128,859人 個人利用者人数:41,952人	施設予約については、全てインターネット予約としている。 利用者にとってもPCや携帯電話等インターネット環境があれば、いつでも、どこでも利用できる為、利用者の利便性向上になっている。	平成27年度に引き続きちば施設予約システムを利用		生涯学習課、市民活動支援課
106	市民体育館管理運営	指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体が指定管理者となり管理運営を行っている。(平成27年から平成29年度までの3ヶ年)	・民間(アクティオ・フクシ共同事業体)のノウハウを活かし利用者の増加につながっている。 ・指定管理期間の再見直しを検討する余地がある。	引き続きアクティオ・フクシ共同事業体による管理運営		文化・スポーツ課
107	体育施設管理運営事業、維持補修	「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	・市営ゲートボール場仮設トイレ修繕 ・五本松運動広場立入防止柵修繕 ・ふれあいキャンプ場トイレ修繕	計画的に修繕を行ったことで体育施設の長寿命化が図れ、市民が安全で快適に施設を利用できるようになった。	・上沼田、新木野少年野球場仮設トイレ取替 ・浅間前多目的広場仮設トイレ取替 ・つくし野多目的広場駐車場排水整備		文化・スポーツ課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
108	武道施設の建設整備の検討	全国総合体育大会、国民体育大会で、さまざまな競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討をする。	地権者の意向確認を行った。	売買交渉がまとまらない可能性がある。	引き続き地権者との交渉を行う。	用地について体育館西側の土地だけでなく、南側や東側での整備を視野にいれる	文化・スポーツ課
109	市民体育館維持補修、改修事業	「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナ仕切カーテン設置工事</li> <li>・サブアリーナ照明取替工事</li> <li>・教室及び放送室空調機器取替工事</li> <li>・駐車場等照明器具増設工事</li> <li>・給水ユニットポンプ交換</li> <li>・キッズルーム修繕</li> </ul>	計画的に改修を行うことにより施設の長寿命化が図れる。また、より良い環境で市民体育館を利用してもらえ、スポーツに関するニーズに対応した施設の充実が図れた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブアリーナ西側雨漏り修繕</li> <li>・1階トイレ修繕</li> <li>・トレーニングルーム増設</li> <li>・野球場本部席設置工事</li> </ul>		文化・スポーツ課
110	学校体育施設開放事業	市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校プール開放事業            &lt;&lt;一般開放&gt;&gt;            【日程】7月25日から8月16日までの23日間            【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、根戸、新木、布佐南の9校            【参加者】12,529人            &lt;&lt;団体開放&gt;&gt;            【日程】7月25日から7月29日までの5日間            【場所】我孫子第二、布佐、高野山、湖北台東の3校            【参加者】374人</li> <li>●体育館・校庭の一般開放事業            年間通して全校で実施する。</li> </ul>	小学校のプールが市民プールの代替として果たす役割は大きい。体育館・校庭の一般開放事業は、空き時間がないほど利用されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校プール開放事業            &lt;&lt;一般開放&gt;&gt;            【日程】7月30日から8月21日までの23日間            【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南の10校            &lt;&lt;団体開放&gt;&gt;            【日程】8月4日から8月8日までの5日間            【場所】我孫子第二、布佐、高野山、の3校</li> <li>●体育館・校庭の一般開放事業            年間通して全校で実施する。</li> </ul>		文化・スポーツ課
111	ふれあいキャンプ場管理運営	市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふれあいキャンプ場利用            【キャンプ場利用数】            586件、8,081人</li> </ul>	市民が安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供した。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
112	文化財等の保存と活用	市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財説明板の設置 2基の文化財説明板の更新</li> <li>●文化財展示会の実施 【日程】2月20日～23日 1073人 【場所】市民プラザ 【内容】根戸船戸遺跡出土遺物の展示と市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像の展示 【参加者】1073人</li> <li>●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠のタベ》 【日程】10月9日・10日 【参加者】472人 《ひなのまつり》 【日程】2月23日～3月6日 【参加者】1939人</li> <li>●郷土資料室等の運営 資料貸借、保存業務</li> <li>●旧井上家住宅の保存・活用 ・表門・裏門・外堀保存整備工事 7月1日～3月22日 47,056,000円 ・二番蔵保存整備工事実施設計 6月1日～11月29日 3,629,000円 ・部分公開の継続 《一部公開》3054人</li> </ul>	文化財を保存するだけでなく、整備し展示会等活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらう良い機会となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化財説明板の設置 2基の文化財説明板の更新</li> <li>●文化財展示会の実施 【日程】2月中旬</li> <li>●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠のタベ》 【日程】10月7日・8日 《ひなのまつり》 【日程】2月下旬～3月上旬</li> <li>●郷土資料室等の運営 資料貸借、保存業務</li> <li>●旧井上家住宅の保存・活用 ・二番土蔵保存整備工事 ・母屋耐震診断 ・部分公開の継続 《一部公開》</li> </ul>		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
113	杉村楚人冠記念館の保存と活用	杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●春期企画展「楚人冠がみたオペラ歌手 ～三浦環・原信子」 【日程】3月10日～5月17日 【入館者】1166人</li> <li>●鑑賞会「SPレコードを聴く 三浦環と原信子」 【日程】4月26日 【参加者】29人</li> <li>●テーマ展示「見て知る、読んで知る、昭和初めの我孫子」 【日程】5月23日～7月12日 【入館者】798人</li> <li>●夏期企画展「戦時下のアサヒグラフ」 (戦後70年・我孫子市平和都市宣言30年記念平和事業) 【日程】7月14日～10月4日 【入館者】768人</li> <li>●読書会 【日程】9月26日 【場所】アビスタ 第2学習室 【参加者】26人</li> <li>●冬期企画展「杉村楚人冠と柳田國男」 【日程】10月10日～1月11日 【入館者】811人</li> <li>●講演会 【日程】11月21日 【場所】アビスタ ホール 【参加者】84人</li> <li>●テーマ展示「河村蜻山と湖畔吟社」 【日程】1月13日～2月28日 【入館者】307人</li> <li>●春期企画展「楚人冠の旅」 【日程】3月1日から(翌年度へ継続)</li> <li>●茶会 【日程】3月22日 【参加者】126人</li> </ul>	<p>質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、小中学校のみならず高校などとの連携が必要になっている。平成27年度に実施した茶会は我孫子高校茶道部との連携事業として幅広い層の来訪者があった。</p> <p>【質の高い展示という点での展示の工夫などあれば補足】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●春期企画展「楚人冠の旅」 【日程】3月1日～5月15日(前年度より継続)</li> <li>●テーマ展示「てがみ展 楚人冠の友人たち」 【日程】5月21日～7月10日</li> <li>●夏期企画展「ことばに向き合う～新聞記者楚人冠の言語論」 【日程】7月12日～10月2日</li> <li>●冬期企画展「新聞と文学と～杉村楚人冠と夏目漱石」 【日程】10月8日～1月9日</li> <li>●テーマ展示「てがみ展 楚人冠の友人たち2」 【日程】1月11日～3月5日</li> <li>●春期企画展「血脇守之助～我孫子が生んだ歯科医学の功労者」 【日程】3月7日～5月14日(翌年度継続)</li> <li>●茶会 【日程】3月</li> </ul>		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
114	旧井上家住宅の保存と活用	旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表門・裏門・外塀保存整備工事【期間】7月1日～3月22日</li> <li>●表門・裏門・外塀保存整備工事工事監理業務【期間】7月1日～3月22日</li> <li>●二番土蔵保存整備工事実施設計【期間】5月29日～11月27日</li> <li>●宇保存整備工事現地見学会【日程】1月23日【参加者】26人</li> </ul>	保存整備工事を適切に実施することができた。また工事の現地見学会は好評であったため、今後も継続して実施していきたい。また、文化団体・市民団体と共催イベントを実施し、今後のニーズ調査を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二番土蔵保存整備工事【期間】平成28年7月1日～30年7月31日(予定)</li> <li>●母屋耐震診断【期間】平成28年6月1日～29年2月28日</li> <li>●保存整備工事現地見学会【日程】12月～1月実施予定</li> <li>●茶会(文化団体との共催)</li> <li>●コンサート(市民団体との共催)</li> </ul>		文化・スポーツ課
115	白樺文学館の運営	大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別企画展「我孫子・白樺派を継ぐ者—原田京平の生涯—」【日程】3月1日(日)～5月24日(日)(前年度より継続)【入館者】1123人</li> <li>●座談会「我孫子・白樺派を継ぐ者—原田京平を語る—」【日程】5月9日(土)【場所】アピスタ【参加者】48人</li> <li>●常設テーマ「白樺派と我孫子」【日程】5月27日(水)～10月25日(日)【入館者】1697人</li> <li>●常設テーマ「民藝運動と我孫子」【日程】1月27日(水)～6月26日(日)【入館者】1676人</li> <li>●他団体共催事業「湖北地区公民館共催イベント朗読発表会」【日程】9月26日(土)【場所】湖北地区公民館【参加者】26人</li> <li>●企画展「歌人 原田京平と窪田空穂」【日程】平成27年10月29日(木)～平成28年1月24日(日)【入館者】857人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳兼子のピアノBGM演奏や朗読会の開催で新たな来館者層を獲得し、来館者数の底上げになった。</li> <li>・原田京平を通じた白樺派研究の深化と認知向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設テーマ「民藝運動と我孫子」【日程】2月24日(水)～10月30日(日)(前年度より継続)</li> <li>●他団体共催事業「湖北地区公民館共催イベント朗読発表会」【日程】7月・11月・3月【場所】湖北地区公民館</li> <li>●企画展「画家 原田京平と山本鼎」【日程】11月2日(水)～1月29日(日)</li> </ul>		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
116	手賀沼文化拠点整備計画の推進	我孫子市内には、古墳や郡衙(ぐんか)などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけにとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。	平成27年度は、主要事業の開始が保留されているため、都市計画道路の進捗状況を見極めつつ、着手時期を検討し、開始保留とされていないソフト事業などを中心に実施し、関係各課の事業進行管理を行った。	都市計画道路の進捗状況によって、ハード整備事業の着手が制約されるため、当面の間、ソフト事業のみの展開となる。	関係各課の事業進行管理を行い、有利な補助金等がある場合は積極的に活用するよう、企画財政部とも協調していく。		文化・スポーツ課
117	移動図書館業務	移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れて親子等に学習の機会を提供する。	移動図書館そよかぜ号が水・木・金の午後市内14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。 平成27年度から、移動図書館をより利用しやすくするため、水・木・金の祝日も運行した。 【年間貸出冊数】 24,351冊	年間貸出冊数を前年度と比較すると、1,934冊減少(-7.4%)となった。天候不順による中止も多いが、27年度は祝日も巡回したことにより、減少幅が小さくなった。移動図書館の巡回は、図書館から離れた地域の利用者にとって必要であり、一定の成果を上げている。また、利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。	移動図書館そよかぜ号が水・木・金の午後市内14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供する。 移動図書館をより利用しやすくするため、水・木・金の祝日も運行を行う。		図書館
118	湖北地区図書館の整備	現在の市民図書館湖北台分館は面積・設備・機能面で十分な図書館とは言えないことから、湖北地区の利用者への直接サービスの拠点として、湖北地区図書館を建設する。	企画課が中心となって、湖北台地区公共施設整備に係る関係課長会議を1回開催した。	・湖北台地区公共施設整備に係る関係課長会議の開催(1回)	都市計画道路整備事業による若草幼稚園の移転先等協議の状況によっては、企画課を中心として湖北台地区公共施設の整備内容について検討をする。		図書館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
119	図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布佐分館会議室を貸し出す。</li> <li>・湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供する。</li> <li>《布佐分館》</li> <li>第1会議室 54回</li> <li>第2会議室 53回</li> <li>ミニギャラリー 12回</li> <li>《湖北台分館》</li> <li>ミニギャラリー 12回</li> </ul>	ミニ・ギャラリーは、湖北台分館、布佐分館ともに予約が1年先まで入るほど盛況であり、今後も継続していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布佐分館会議室を貸し出す。</li> <li>・湖北台分館・布佐分館の館内壁面をミニギャラリーとして市民に提供する。</li> <li>《布佐分館》</li> <li>第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回予定)</li> <li>《湖北台分館》</li> <li>ミニギャラリー(年12回予定)</li> </ul>		図書館
120	鳥の博物館管理運営	鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>H27. 5 吸収冷温水機修繕(荏原冷熱システム株)459, 907円</li> <li>H27. 6 吸収冷温水機不具合箇所修繕(荏原冷熱システム株)802, 105円</li> <li>H27. 6 フリーザー修繕(株荏原)75, 600円</li> <li>H27. 9 非常放送設備更新(輝産業株)669, 600円</li> <li>H27. 9 館内扉ドアクローザー交換(南ミス住建)54, 000円</li> <li>H27. 10 ブラインド修理(ニチペイサービス株)28, 080円</li> <li>H27. 11 トイレタンク修繕(大成有楽不動産株)4, 320円</li> <li>H28. 3 書棚修繕(キハラ株)27, 000円</li> <li>H28. 3 誘導灯、非常照明修繕(南一條電気工業)98, 280円</li> <li>H28. 3 トイレタンク修繕(大成有楽不動産株)4, 320円</li> <li>H28. 3 ドアノブ調整(南ミス住建)8, 100円</li> <li>H28. 3 非常ドア修繕(大成有楽不動産株)340, 200円</li> <li>H28. 3 展示室塗裝修繕(南栗原塗装工業)46, 440円</li> </ul>	上記修繕箇所完了 これまでどおり、利用者に快適な館内環境を提供することが可能となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身障者用トイレ自動ドア電気錠交換</li> <li>バルコニータイル修繕</li> <li>暗幕張替</li> <li>窓枠塗装及び屋根防水部分修繕</li> <li>3階換気設備部品交換</li> <li>内部塗装修繕(1階スチールドア、2・3階ドア枠等)</li> <li>UVカットフィルム貼り</li> </ul>		鳥の博物館
121	鳥の博物館空調設備更新工事	施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	空調設備更新工事に伴う設計業務を委託した(H27. 5. 1~8. 31)	設計業務の完了により、空調工事入札にかかる金額の積算と設計図書が完成した。	空調設備工事実施(工事期間はH28. 11~H29. 1)		鳥の博物館
122	鳥の博物館展示リニューアル	科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示</li> <li>平成28年2月 2階「手賀沼の自然と鳥」コーナーにタッチ式デジタルサイネージを設置。手賀沼の鳥や自然環境の変化に関する最新情報を、映像や音声を使って提供し、常設展示のリニューアル実施までの補完としての情報のアップデートを行った。</li> <li>平成28年3月 3階展示室「鳥の起源と進化」コーナーの展示パネル2枚を交換した。</li> <li>鳥の起源と進化に関する最新情報の提供と分類に関する展示内容の情報整理を行った。</li> <li>常設展示のリニューアル実施について、第8期実施計画に組み入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数の増(H26 34, 073人→H27 36, 049人)</li> <li>常設展示のリニューアル実施までの時期を補うための展示情報のアップデートが実現できた。これにより、来館者への解説がスムーズになった。</li> <li>今後も科学の進歩にあわせて、情報の更新や時代に沿った展示方法を検討・実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示</li> <li>空調工事で休館中に、常設展示の中で、補完すべき情報を整理し、これを解説したちらしを作成する(開館時にバフスタンドに設置する)。また、今後計画されている常設展示のリニューアルに向けて必要な資料を収集整理する。</li> </ul>		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課		
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無			
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用									
123	手賀沼ふれあいウォーク	手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	<p>●手賀沼ふれあいウォーク</p> <p>【日程】11月21日(土)</p> <p>【場所】手賀沼公園</p> <p>【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会を組織し(実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市が共催)</p> <p>【人数】658人</p> <p>【対象者】市民</p>	当日は、天候にも恵まれ、参加者が前年度494人に比べ大幅に増加した。年々参加者が増加していることから、イベントの周知だけでなく、運動習慣の重要性も多くの人に知ってもらう機会を提供できた。	【日程】11月19日(土)	【場所】手賀沼公園	【人数】約600人	健康づくり支援課	
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	取手グリーンスポーツセンター温水プール(1施設)、博報堂のテニスコート(3面)、グラウンド(1面)を一般市民に開放した。	テニスコートについては、資産売却がされたため利用できなくなった。近隣市や民間と連携し、体育施設を一般開放し市民がスポーツに触れる場を提供できた。	温水プール(1施設)、グラウンド(1面)を一般市民に開放する。			文化・スポーツ課	
125	手賀沼エコマラソン支援事業	「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう!」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	<p>●第21回手賀沼エコマラソン</p> <p>【日程】10月25日(日)</p> <p>【対象】</p> <p>・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者</p> <p>≪柏・我孫子市民枠≫2,000人</p> <p>≪一般枠≫6,000人</p> <p>【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン)</p> <p>【参加者数】7,997人</p> <p>【目的】</p> <p>(1)手賀沼浄化啓発活動の推進</p> <p>(2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール</p> <p>(3)健康増進の昂揚</p> <p>(4)社会の活性化とスポーツ文化の振興</p> <p>【共催】柏市</p>	マラソン大会100選にも毎年選出されるほどに人気を誇り、スローガンである手賀沼浄化の啓蒙にもつながっている。柏市と連携し、手賀沼を周るマラソン大会を開催した。	●第22回手賀沼エコマラソン	【日程】10月30日(日)	【対象】	<p>・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者</p> <p>≪柏・我孫子市民枠≫3,000人</p> <p>≪一般枠≫6,000人</p> <p>【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン)</p> <p>【参加者】9,000人</p> <p>【目的】</p> <p>(1)手賀沼浄化啓発活動の推進</p> <p>(2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール</p> <p>(3)健康増進の昂揚</p> <p>(4)社会の活性化とスポーツ文化の振興</p> <p>【共催】柏市</p>	文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力	千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相互協力事務担当者会議 【日程】6月11日(木) 【場所】千葉県立西部図書館</li> <li>●千葉県立図書館巡回車(週1回)</li> <li>●千葉県公共図書館協会 《総会》 【日程】5月20日(水) 【場所】千葉県立中央図書館 《館長会議》 【日程】3月17日(木) 【場所】千葉県立中央図書館 《第3ブロック会議》 【日程】2月12日(金) 【場所】柏市立図書館 《参考郷土等研修委員会》 【日程】7月1日(水)、9月16日(水) 【場所】千葉県立中央図書館</li> <li>●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 2,017冊 【他図書館からの借入(B)】 7,998冊 【年間相互貸借冊数(A+B)】 10,015冊</li> </ul>	年間相互貸借冊数は、2,209冊増(+28.3%)となっており、市民の多種多様で旺盛な資料要求に応えることができた。市民の多種多様で旺盛な資料要求に対して、適正な資料費の確保も課題となっている。また、相互協力事務担当者会議等にも出席するなどして、他の図書館との連携を深めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互協力事務担当者会議(年2回)</li> <li>・相互貸借申込み(通年、随時)</li> <li>・千葉県立図書館巡回車(週1回)</li> <li>・千葉県公共図書館協会「総会(年1回)、館長会議(年1回)、ブロック会議(随時)、参考郷土等研修部会(随時)等」</li> <li>・市内大学との打合せ</li> </ul>		図書館
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり							
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充							
127	生涯学習(再掲)出前講座の運営	No.91に同じ					生涯学習課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供した。 【講座登録数】 市民講師メニュー136講座(平成28年3月31日現在) 【講師登録数】 講師62人と6団体の登録(平成28年3月31日現在)	市民講師の登録数は増加している。市民講師として、積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。		生涯学習課
129	(再掲) 生涯学習人材バンクの整備	No.23に同じ					生涯学習課
130	アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全70回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 【参加者】利用者227人、保育ボランティアスタッフのべ178人 [利用者内訳] <<毎週水曜日>>54回、157人 <<公民館事業(家庭教育学級、プチ家庭教育学級、のびのび親子学級家庭教育学級合同講演会等)>>16回 70人	利用対象がほぼ2歳児に限定されるため人数の増減はあるが、繰り返し利用される方が多いため、利用者の満足度は高い。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全68回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児		生涯学習課
131	(再掲) 生涯学習ボランティア	No.24に同じ					生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
132	文化事業市民スタッフ	教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施した。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】34人（昨年度は27人）  【派遣件数】9件【派遣人数】90人(延べ) 【派遣件名】天心映画上映会、我孫子市民フィル定期演奏会、めるへん文庫原画展、市民コンサート、郷土芸能祭、文化財展寄贈絵画展、フレッシュコンサート、茶会(杉村)、めるへん文庫表彰式 【業務内容】入場者の受付に関する業務、開場の案内及び整理に関する業務、出演者の接待に関する業務、会場及び設備に関する業務、その他補助的業務	26年度より委嘱人数が増加したことからも市民の意識が良い方向へ変わってきている。 委嘱した文化スタッフは、自らが文化振興の担い手として活躍するものであり、文化振興の拡大に寄与する事業であることから、今後とも積極的に展開していく。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施します。 【委嘱期間】4月1日～3月31日		文化・スポーツ課
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充							
133	防災士及び災害救援ボランティア育成事業	防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、自助・共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	●第6回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】11月14日(土)21日(土)28日(土) 【場所】中央学院大学・消防本部 【参加者】一般10名(男性9名・女性1名)学生4名(男性3名・女性1名) 【対象者】防災士、災害救援ボランティア(一般、学生)	例年に比べ、参加者が少なかったが、学生に比べ一般参加者が多いことは、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。 参加者を増やすための、工夫が必要である。	●第7回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【開催日程】11月土曜日開催 3日間(予定) 【開催場所】中央学院大学・消防本部(予定) 【募集人数】一般10名 学生20名 計 30名 【対象者】防災士、災害救援ボランティア(一般、学生)		市民安全課
134	失語症会話パートナー養成講座	失語のある人のコミュニケーションを支援するため、市民を対象に失語に関する知識と会話技術に関する講習と実習を行う。	●失語症会話パートナー養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる失語症パートナーを養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催した。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】3回 【参加者数】延べ18名 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料	27年度は、講座の前後に失語のある人と15分間の自由会話を行い、観察評価尺度を用いて講習の効果を検証した。失語に関する基礎知識と会話技術を身につけてもらう機会になった。	●失語症会話パートナー養成講座 失語のことをよく理解し、コミュニケーションを補いながら一緒に会話できる失語症パートナーを養成するため、市民を対象に失語に関する基礎知識と会話技術に関する講習を開催する。 【開催場所】障害者福祉センター・保健センター 【実施回数】1回 【定員】12名 【対象】我孫子市在住の方 【費用】無料		(障害者福祉センター) 障害福祉意支援課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
135	介護予防サポーター養成講座	介護予防に関する知識や技術を地域の人々に普及啓発していく、高齢者の介護予防活動のリーダーを育成し支援する。	平成28年度から開始事業のため実績なし		【開催場所】市民プラザ アビスタ 【開催期間】平成28年5月25日～11月30日（開催期間中、1団体あたり4回研修を実施） 【内容】認知症予防プログラム（コグニサイズ）、ストレッチ、尿もれ体操、口腔機能向上の体操等、介護予防に特化したプログラムの提供 【対象者】きらめきデイサービスボランティア、強化型きらめきデイサービスの開設予定している団体、体育指導の要請があった団体		高齢者支援課
136	子育てサポーター養成講座	核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、子育てを支援する人材を育成し、地域における子育て力を強化するため、子育てサポーター養成講座を開講し、子育てサポーターを養成する。	<p>●子育てサポーター養成講座 《基本講座》 【日程】 6月25日（木）、7月2日（木）、7月9日（火）、7月16日（木）、7月23日（木）、7月30日（木）、8月4日（火）、9月8日（火）、10月8日（木）全9回 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住または近隣市町在住の20歳以上の方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方</p> <p>《保育園実習（保育園見学・参加実習）》 【日程】9月15日（火）から9月29日（水）のうち2日間</p> <p>《フォローアップ講座》 【日程・内容】 1月26日（火）保育の実践につながる講習会（講義）、保育の実践につながる講習会（実技）他 2月4日（木）具体的な問題点、疑問点への対応策の検討</p> <p>◎子育てサポーター新規認定者 9人</p> <p>●スキルアップ講座 【日程・内容】 10月13日（火）サポーターのためのサポート講座 25人 3月4日（金）ボランティアを楽しもう part2 16人</p>	平成27年度は、9人の新規サポーターを加え、75人となった。活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動に積極的に参加し、子育てを支援する人材育成の機会としての成果があった。ただ、活動に参加してくれるサポーターは毎回同じ方になってきているため、活動に消極的なサポーターの参加を促すとともに、活動の場を広げて行きたい。	<p>●子育てサポーター養成講座 《基本講座》 【日程】 6月23日（木）、6月30日（木）7月8日（金）、7月15日（金）、7月22日（金）、7月28日（木）、8月3日（水）、9月6日（火）、10月14日（金）全9回 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住または近隣市町在住の20歳以上の方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人</p> <p>《保育園実習（保育園見学・参加実習）》 【日程】9月12日（月）から9月30日（金）のうち2日間</p> <p>《フォローアップ講座》 【日程・内容】 1月31日（火）保育の実践につながる講習会（講義）、保育の実践につながる講習会（実技）他 2月10日（金）具体的な問題点、疑問点への対応策の検討</p> <p>●スキルアップ講座2回予定 【日程・内容】 10月 未定 1月または2月 未定</p>		保育課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
137	環境レンジャー活動への支援	環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動を支援する。	<p>●ネイチャー・イン 【日程・参加者】            ≪鎮守の森にネイチャーイン≫ 5月17日 18人            ≪ホテル観賞会≫ 7月25日 96人            ≪巣箱外し・巣箱調査≫ 10月19日 5人            ≪谷津ミュージアム自然観察会≫ 10月24日 18人            ≪手賀沼の冬鳥船上観察会≫ 1月31日 27人            ≪紙飛行機工作と飛行大会≫ 3月20日 61人</p> <p>●Enjoy手賀沼！ブース出展 【日程】5月10日 【場所】手賀沼親水広場 【内容】パネル展示及び生き物ぬり絵の実施 【参加者】335人</p> <p>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行 【日程】年3回(4、10、1月) 【場所】各小中学校及び公共施設の配布 【部数】約1,000部/回</p> <p>●エコ・こども教室 【日程】10月18日 【内容】手賀沼流域フォーラム我孫子地区イベントとして、夏休み自由研究作品の手賀沼賞受賞者5人の作品発表会を実施。 【場所】アピスタ 【参加者】419人</p> <p>・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】16名</p>	環境レンジャーの行事への参加や、活動報告等、当初の予定通りに業務を遂行できた。	<p>●ネイチャー・イン企画の開催を行う。</p> <p>●Enjoy手賀沼！ブース出展をする。</p> <p>●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行をする。</p> <p>●エコ・こども教室を開催する。</p> <p>●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。</p>		手賀沼課
138	緑のボランティアの森づくり	森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	<p>●市民の森&amp;古利根みどりのボランティア定例活動日            ≪古利根自然観察の森活動≫ 【日程】偶数月第2土・奇数月第2日            ≪古利根沼べり活動≫ 【日程】毎月第3水            ≪中里市民の森活動≫ 【日程】偶数月第4日            ≪岡発戸市民の森活動≫ 【日程】奇数月第4日</p>	<p>会員同士の森づくりの共通認識が図れてきており、森の保全から再生へと活動を広げ、会員同士の共通認識のもと行われ始めている。また、定例活動日以外の有志活動や、会員自身が住んでいる地域の森づくりをされている方もおり、ボランティアによる緑の保全活動の拡がりにつながってきている。活動する新規会員の増加は低調で、今後のボランティアリーダーを担う人材確保が必要である。</p>	<p>●市民の森&amp;古利根みどりのボランティア定例活動日(予定)            ≪古利根自然観察の森活動≫ 【日程】偶数月第2土・奇数月第2日            ≪古利根沼べり活動≫ 【日程】毎月第3水            ≪中里市民の森活動≫ 【日程】毎月第4日            ※岡発戸市民の森活動は、岡発戸市民の森整備工事を実施することから今年度は休止し、中里市民の森での活動に充てている。</p>		公園緑地課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
139	生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施	生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	あびこ楽校協議会主催の生涯学習に関する講演会に研修会として市民講師を招待した。 【日程】 6月11日(水) 【場所】 アピスタ 第2学習室 【内容】 「生涯学習時代を幸せに生きる力～男女共同参画の視点からみた生涯学習～」 【講師】 佐々木尚毅氏 【参加者】 9人(市民講師)	生涯学習に関する専門家の講義を受講することにより、改めて市民講師としての役割を再認識できた。また、講座内容の充実をはかるための学習機会を提供することができた。	平成28年2月に市民講師登録者・団体全員を対象に学習会を実施。平成27年度事業の報告、意見交換等を行う。		生涯学習課
140	生涯学習審議会委員の研修	生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会を実施する。			あびこ楽校協議会と社会教育委員が統合となり、生涯学習審議会発足にあたり、審議委員の研修を行う。 【実施回数】2回実施予定 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市と合同で研修会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月23日(火) 【場所】野田市中央公民館 【内容】学識経験者から生涯学習についての講演を聴く。 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月17日(火) 【場所】鎌ヶ谷市 【内容】社会教育関連施設等の視察、社会教育関係の有識者、行政担当者等による講話		生涯学習課
141	スポーツ指導者の研修制度の確立	市民の多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者の研修制度を検討し、確認する。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	他市の事例を研究した。	市独自のスポーツ指導者の研修制度確立に向け検討した。	研修制度の確立へ向け、NPO法人我孫子市体育協会と開催について協議を行う。		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
③学んだ成果を評価するしくみの構築							
142	市民コンサート	市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらえるよう、教育委員会、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団が実行委員会を組織して、コンサートを開催する。	●市民コンサート 【日程】12月19日(土)、20日(日) 【入場者】825人 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団	演奏会を実施し、来場者の観覧に応えた。	【日程】12月17日(土)、18日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団		文化・スポーツ課
143	市民参加型コンサート	市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 【事業名】フレッシュコンサート 【日程】2月21日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【参加者】203人 【開催場所】市民プラザ ホール	文化財展・寄贈絵画展とコラボ開催し、今までの参加者と異なる層の来場者を得ることができた。今後も同様に他のイベントと協調して開催し、来場者の掘り起しを行いたい。 コンサートを通し、交流の場と成果を発表する機会を提供できた。	●市民参加型コンサート 【事業名】未定 【日程】2月下旬日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生の若手演奏家が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【開催場所】市民プラザ ホール		文化・スポーツ課
144	文化祭	多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】9月21日(日)～12月13日(日) 【場所】アビスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化32部門 【出演者数】3,970人 【観覧者数】17,654人	今年度も、多くの市民参加を募り開催することができた。 多くの参加者の方に、文化芸術に親しむ機会や活動発表の機会を提供できた。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】10月1日(日)～12月11日(日) 【開催場所】アビスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手工芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門		文化・スポーツ課
145	寄贈絵画展	市に寄贈された絵画を有効活用しながら絵画展を実施し、市民の芸術の心を育む。	●寄贈絵画展 【日程】平成28年2月20日(土)～23日(火) 【入場者】1073人 【場所】市民プラザ ギャラリー 【内容】市民の文化意識に応える絵画展。市に寄贈された絵画作品の展示(岡田正二、鈴木喜三男、天海敦)(教育委員会の主催で実施)	寄贈絵画展を文化財展、フレッシュコンサートとコラボ開催することにより、例年とは違った参加者層に寄贈絵画をアピールする機会を得られた。今後とも積極的に展開していきたい。	市民の文化意識に応える絵画展を教育委員会の主催で実施します。また、昨年度に引き続き、文化財展とコラボレーションすることを計画しています。 【日程】平成29年2月予定 【場所】市民プラザ ギャラリー		文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
146	めるへん文庫	子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫審査委員の原画展示を行う。	<p>●めるへん文庫</p> <p>【対象】市内外の小・中・高校生</p> <p>【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。</p> <p>【募集期間】5月1日～10月31日</p> <p>【応募件数】145編(小学生31、中学生109、高校生5)</p> <p>【その他】前年入賞者の作品を第12集として製本(500部)し、入賞者・学校・図書館などに配布した。</p> <p>【原画展】めるへん文庫事業のPRを兼ねて、めるへん文庫に挿入されているさし絵の原画展示会を開催しました。</p> <p>≪表彰式≫</p> <p>【日程】平成28年3月19日(土) 小学生1席1名・2席1名・3席4名、中学生1席1名・2席1名・3席6名、高校生1席1名・2席1名・3席1名</p>	今年も、多くの子ども達からの応募があり、創作活動を通じ豊かな感性を育む機会や作品を発表する機会を提供できた。	<p>●めるへん文庫</p> <p>【対象】市内外の小・中・高校生</p> <p>【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。</p> <p>【募集期間】5月1日～10月31日</p>		文化・スポーツ課
147	(再掲) 郷土芸能への支援	No.50に同じ					文化・スポーツ課
148	(再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業	No.125に同じ					文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり							
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実							
149	チャレンジDAY	市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●チャレンジDAY</li> <li>【日程】9月26・27日</li> <li>【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階)</li> <li>【内容】テーマ別企画(福祉、子育て、環境等)、講演会、懇親会等</li> <li>【参加者】人数:371名、参加団体:30団体</li> </ul>	市民と市民団体等とが交流できる機会を提供した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【日程】9月24・25日</li> <li>【場所】我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階)</li> <li>【内容】テーマ別企画(食、自治会等)、講演会、懇親会等</li> </ul>		市民活動支援課
150	あびこ子(再掲)どもまつり	No.61に同じ					子ども支援課
151	げんきフェスタ(再掲)	No.62に同じ					子ども支援課
152	学校支援事業の充実	学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民を中心とした学校支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の質と教育力の向上を図るため、市内全小中学校の学校支援コーディネーターの一層の育成と組織の確立を目的とする。</li> <li>・学校が必要とする教育支援内容に応じ、教育活動支援、環境整備支援、児童生徒の安全確保支援、部活動指導支援等のボランティアを派遣するための組織作りを継続していく。</li> <li>・各校の学校支援地域本部コーディネーターが中心となって、学校が必要とする教育支援内容に応じ、教育活動支援、環境整備支援、児童生徒の安全確保支援、部活動指導支援等、ボランティアを受け入れる。</li> </ul>	市内各校では、本年度までの着実な取り組みを継続し、活動を軌道に乗せている様子である。ボランティア活動に参加する地域・保護者の方々と、児童、生徒や教職員との関係性も着実に深まっている様子がうかがえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境整備支援」や「安全確保支援」などを充実させながら、「学習支援」の広がりと充実を図る。</li> <li>・各中学校での連携や支援活動の実施をめざす。</li> <li>【場所】市内小中学校 全19校</li> </ul>		指導課
153	生涯学習学習相談体制の整備(再掲)	No.22に同じ					生涯学習課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
154	(再掲) 長寿大学	No.66に同じ					生涯学習課
155	(再掲) 家庭教育学級	No.69に同じ					生涯学習課
156	(再掲) のびのび親子学級	No.70に同じ					生涯学習課
157	(再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース	No.48に同じ					生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成							
158	在住外国人支援事業	在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日34回、土曜日34回を開催。(火曜日は託児を実施) 【場所】アビスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり1時間30分 火曜日は託児を実施 【受講生】96人 【ボランティア講師】41人 【託児登録児童数】9人 【託児ボランティア】8人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会です市内に在住・在勤 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語の計5か国語対応 【業務内容】在学の外国人からの相談を受けた。 【相談件数】13件 【登録相談員】11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳件数】11件 【通訳派遣数】のべ25人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳枚数】英語38枚 中国語1枚 計39枚</p>	<p>●外国人のための日本語教室 受講生からの日常生活や日本の習慣などについての質問、相談ごとにもボランティア講師が適宜対応、アドバイスをを行った。また、授業以外にも色々な体験ができるよう働きかけた。 ●外国人相談窓口業務 外国人からの相談受付をAIRA事務局が行い、複雑な内容の場合には、ボランティア通訳(登録相談員)を手配したり、関係機関に取り次ぐなどの対応を行うことにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。 ●外国語通訳派遣業務 野外美術展など行事や、国際会議の我孫子での見学(鳥博等)等の通訳を行い、交流を図ることができた。 ●簡易な文書の翻訳 外国人にとって日常生活で必要と思われる情報を英訳して提供することにより、外国人も暮らしやすい環境を整えることができた。</p>	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日35回、土曜日35回を開催予定。(火曜日は託児を実施) 【場所】アビスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり1時間30分を予定 ●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会です市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語の計5か国語対応 ●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 ●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応</p>		企画課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
159	公募補助金制度の運用	市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	<p>●公募補助金の運用</p> <p>公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金です。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50までの範囲です。</p> <p>【応募資格】</p> <p>営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象です。</p> <p>①5人以上で構成されていること。</p> <p>②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。</p> <p>③政治や宗教を主たる目的としないこと。</p> <p>④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。</p> <p>⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。</p> <p>⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。</p>	<p>市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。</p> <p>【申請】</p> <p>審査申請:9件(新規申請6件、再申請3件)</p> <p>審査結果:採択 6件、不採択 3件</p> <p>【交付】13件、総額:2,343,420円</p>	平成27年度と同様		市民活動支援課
160	市民公益活動補償制度の運用	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	<p>【対象者】</p> <p>主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除きます。</p> <p>【補償の種類】</p> <p>傷害、損害賠償、弔慰金</p> <p>【支払】</p> <p>《傷害》</p> <p>・支払件数:10件</p> <p>・支払金額:90,000円</p>	<p>市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。</p> <p>事故等も多様化しており、制度内容の変更を検討している。</p>	平成27年度と同様		市民活動支援課
161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣	資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<p>平成26年度と同様に要請により実施。</p> <p>《勉強会への講師派遣》</p> <p>【日程】平成26年7月6日(月)13:30~14:30</p> <p>【場所】我孫子南近隣センター 8階 調理室</p> <p>【内容】「我孫子市の廃棄物行政の現状と課題」</p> <p>【参加者】25人</p> <p>《自治会懇談会への講師派遣》</p> <p>【日程】平成27年7月12日(日)13:30~16:15</p> <p>【場所】近隣センターこもれび 多目的ホール</p> <p>【内容】「我孫子市のごみ処理の現状」</p> <p>【参加者】38人</p>	<p>ごみと資源の排出抑制やリサイクル、課題について考える機会を提供し廃棄物行政をより深く理解してもらえた。市の具体的な取り組みをより理解してもらえる。</p> <p>【課題】</p> <p>職員減による講師不足</p>	要請があれば実施。		クリーンセンター

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
162	我孫子市創業支援事業	市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、シンポジウム、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』プチ起業コース          起業のスタイルはさまざま。「プチ起業コース」は、リスクの少ない形態でビジネスにチャレンジする起業希望者を対象として開催した。起業に不可欠なポイントが1日で習得できる内容。          【日時】5月16日(土)9:10～17:00          【場所】アビスタ ミニホール          【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも・市外在住者参加可 31名参加          【費用】3,000円</p> <p>●『実践創業塾』本格起業コース          本格的な起業を目指す、実践的な起業コースとして開催。このコースは、特定創業支援事業で、「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の分野全ての講義を受講すると、市より特定創業支援事業を終了した証明書が発行され、会社設立時の登録免許税軽減や※無担保・第三者保証人なしの創業関連保証などのメリットが受けられます。※保証を受けるには審査有り。          【日時】5月30日(土)・6月14日(日)・28日(日)7月12日(日)・26日(日) 毎回9:10～17:00          【場所】アビスタ ミニホール          【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも(ただし5日間のうち4日間出席可能な方)・市外在住者参加可、14名参加          【費用】15,000円</p> <p>●第3回我孫子市 起業・創業シンポジウム          地元我孫子で起業し成功した起業家を講師に招き、身近なインターネットショッピングモールを使用してビジネスにチャレンジする内容で開催          【日時】11月28日(土)          【場所】中央学院大学          【対象者・参加者】起業を目指す方 106名参加          【費用】無料</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会          ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催した。          【日時】平成28年2月13日(土)13:00～15:00          【場所】アビスタ第二学習室(我孫子市若松26-4)          【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方(市外在住者も可)          【参加者】50名(定員45名)          【費用】無料</p>	<p>○プチ起業コースは、1日で起業の基本が学べるコースということ          で、大好評だった。定員20名を大幅に超える31名の参加があった。リスクが少なく、ハードルの低いかたちから始められる身近な「プチ起業」を、現在、希望する方がとても多いことが判った。          ○本格的な起業に必要な知識や、現在活躍する実業家らによる経験談やアドバイス、活発なグループワークなどを通して、「自身のビジネスプランが研ぎ澄まされスタートに近づくことが出来た」と、参加者の大多数から好評をいただいた。実際に、受講生の3名が市内で法人を立ち上げ事業を行っている。          ○シンポジウム参加者へのアンケート結果から、市民の起業意向度が、シンポジウムの回を重ねる毎に高まってきている。また、若い世代の参加が増えてきており、若者の起業への関心度も高くなってきていることから、起業の風おこし・土壌づくりに効果を発揮していると考え。県内で、シンポジウムを行っている自治体は殆ど無い為、毎回、他市からの参加者も多い。          ○ビジネス交流会は定員を超える多くの参加があった。「こういう交流の場が以前から欲しかった」「今後も継続して欲しい」など、参加者からの声があった。実際に今回の交流会で、ビジネスパートナーを見つけ、海外からの発注に繋がったという事例もあった。</p>	<p>●『実践創業塾』プチ起業コース          リスクが少なく無理のないかたちからビジネスにチャレンジしたい方を対象とし、起業に必要な基本の知識を1日で学ぶコース。          【日時】平成28年6月11日(土)09:15～17:00          【場所】アビスタミニホール          【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。30人          【費用】3,000円</p> <p>●『実践創業塾』本格起業コース          本格的な起業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。          ・会社設立時の登録免許税軽減          ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り)          ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り)          【日時】平成28年6月26日(日)、7月10日(日)・24日(日)・8月7日(日)・21日(日)09:15～17:00          【場所】アビスタミニホール※8月7日のみ我孫子南近隣センターホール(けやきプラザ9階)          【対象者・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。30人          【費用】10,000円</p> <p>●第四回我孫子市 起業・創業シンポジウム          我孫子市で活躍している企業経営者を講演者として招き、企業経営における成功話や苦労話、継続の秘訣等を内容とする講演を通じて、市民の起業への関心を高めるとともに、既に起業している方や起業を予定している方の意識啓発やビジネスのブラッシュアップに繋げることを目的として開催。          【日時】平成28年11月12日(土)13:30～16:30          【場所】アビスタホール          【対象者・参加者】起業に関心のある方ならどなたでも。市外在住者も可。140名。          【費用】無料</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会          ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。          【日時】未定          【場所】アビスタ(予定)          【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。          【定員】50名(予定)          【費用】無料</p>		企業立地推進課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
163	市民の学習活動への支援	広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行った。	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュース、チラシ等により情報発信により、生涯学習に対する関心が高まり、電話、窓口での学習相談に対応した。	広報あびこ、ホームページ、あびこ楽校ニュースなどを通じて、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供を行い、学習に関する問い合わせに対応する。		生涯学習課
164	視聴覚ライブラリーの管理・運営 (再掲)	No.25に同じ					生涯学習課
165	社会教育団体活動支援	市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体がやっている事業の後援を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●市民団体の行う事業について、広報への掲載や名義の使用許可を出した。 後援数 27事業	市民団体の行事の後援を行うことで、市民生活の向上や社会文化の振興、活動団体への支援ができた。	市民団体の講演申請に基づき、後援承認を行う。		生涯学習課
166	文化芸術団体活動支援	文化芸術団体の活動を支援するため共催・後援事業の拡充を行い、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	地域の文化活動を支援するため教育委員会は共催、後援事業を行った。 27年度共催事業:43件 27年度後援事業:73件	共催、後援事業を通じて、文化団体の活動支援を十分に行うことができた。また、市が実施主体となる文化自主事業を補完する意味でも今後とも積極的に活動支援していきたい。	地域の文化活動を支援するため教育委員会は共催、後援事業を行う。		文化・スポーツ課
167	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ (再掲)	No.95に同じ					文化・スポーツ課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
168	施設・団体へ図書等の貸出サービス	市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	<p>・学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。</p> <p>・各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出した。</p> <p>・読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。</p> <p>【年間団体貸出冊数】 31,936冊</p> <p>【団体の年間利用数】 1,690回</p>	<p>前年度と比較すると、年間団体貸出冊数は77冊減少(-0.2%)、団体の年間利用数は92回減少(-5.2%)した。</p> <p>年間団体貸出冊数は、安定的に推移しており、年間通して多くの団体に対して貸出サービスを行い子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上につながった。</p>	<p>・学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をする。主に図書館で選定したものを提供する。</p> <p>・各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出しする。</p> <p>・読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供する。10冊、約4週間。</p>		図書館
169	鳥に関する学習への支援	鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのバードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	<p>●団体来館者への展示解説 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)。53団体を案内した。</p> <p>●ガイドツアー 土・日曜日を中心に、30分程度の館内ガイドツアーやスポットガイドを実施した(通年)。59回実施した。</p> <p>●展示交流スタッフの活動 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐した。</p> <p>●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。年間824件の質問に対応した。</p> <p>●調査研究への協力 博物館資料を使った調査研究への協力を行った(通年)。8件の依頼がありこれに協力した。</p> <p>●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。その結果、32人(うち市内からは21人)の相談があった。</p>	<p>団体来館者への展示解説、館内ガイドツアー、市民スタッフによる展示交流等は来館者に好評であった。市内の幼稚園では、園のイベント(夏休み旅行)の前に博物館学芸員による鳥の話聞くことが恒例行事になっているところもあり、館内の展示解説にとどまらない活動の幅を広げている。</p> <p>また、我孫子市の小中学生の科学作品展には、夏休み期間中の自由研究の相談内容を反映した作品が出展された。</p> <p>さらに、博物館資料を使った調査研究活動への協力により、資料の情報が活用され、一部は学術雑誌への投稿という形でその成果が公表された。</p>	<p>今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展示交流を行う。</p> <p>夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行っていく。</p> <p>また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行う。</p>		鳥の博物館

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民スタッフ               <ul style="list-style-type: none"> <li>てがたんの開催・・・毎月第2土曜日実施(一週間前に下見)</li> <li>あびこ自然観察隊の開催・・・年4回実施(7月、10月、2月、3月)</li> <li>室内イベントのお手伝い・・・5月、7月、8月、12月</li> <li>展示交流スタッフの活動・・・土・日曜日を中心に活動する(通年)</li> </ul> </li> <li>以上のイベント実施にあたって、計画の段階から参加してもらい、また、実施するにあたって、研修および下見、打合せを通じた活動支援を行い、進行役や案内役など、環境学習にリーダー的な役割の一端を担ってもらった。</li> <li>●友の会               <ul style="list-style-type: none"> <li>友の会活動への支援と共催事業の実施</li> <li>館内のスペースの一部を友の会の活動に利用できるようにして、友の会の規約に沿った自主的な活動の場として利用できるようにした。また、友の会展や鳥風教室などの事業を博物館との共催で行い、博物館活動への参加意識を高めることができるようにした。</li> </ul> </li> </ul>	市民スタッフ(H27年度登録者36名)で上記活動を実施した。昨年とほぼ同様のスタッフ数を維持しつつ、展示交流を通じた既存の展示の価値の再発見を実現できたほか、観察会等各種イベントのリーダー的な役割を担ってもらうことができた。友の会(H27年度入会者256人・家族会員含む)も、鳥絵同好会・鳥風同好会・デジカメ同好会・見て歩こう会・万葉の会の各サークル活動を行った。また、日頃の活動の成果を「第74回企画展・友の会展」にて発表した。このような博物館と一体となった活動を通じて、市民との協働での博物館運営の要素を強めることが可能となっている。	市民スタッフ(H28登録者28名)で、昨年同様の活動を行う。友の会に対しては、例年通り各サークル活動の場の提供や情報提供による支援を行う。(今年度は空調工事で約3ヶ月休館するので、友の会展は中止)	鳥の博物館	

③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

171	我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第24回あびこ国際交流まつり(市制45周年記念事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>【テーマ】小さな交流 大きな理解</li> <li>【日程】11月29日(日)</li> <li>【場所】市民プラザ</li> <li>【内容】お茶席、外国人の着付け体験、子どものダンス、コカリナ演奏、ベリーダンス、ルーマニア舞踊、日本語と英語による紙芝居、日本語講座生と外国語講座生による催し、AIRAショップ、各国ブースなど</li> <li>【参加者】496人</li> </ul> </li> <li>●第17回国際交流スピーチ大会(市制45周年・戦後70年・我孫子市平和都市宣言30周年記念平和事業)               <ul style="list-style-type: none"> <li>【テーマ】戦後70年の節目の年にあたることから、平和に関する内容を含んだ国際交流</li> <li>【日程】9月27日(日)</li> <li>【場所】市民プラザ</li> <li>【内容】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ大会と合わせて被爆2世写真家・宮角孝雄さんの写真展を実施</li> <li>・スピーチ大会当日の審査の時間帯に、宮角さんの講演会を実施。</li> </ul> </li> <li>【参加者】                   <ul style="list-style-type: none"> <li>《スピーチ大会》英語の部5人(日本人)、日本語の部6人(外国人)6人が参加</li> <li>《来場者》約120人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あびこ国際交流まつり               <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人と日本人が異文化に触れる機会を提供し、相互理解を深めるきっかけとすることができた。</li> </ul> </li> <li>●国際交流スピーチ大会               <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流に関するテーマで、母国語以外の言語で発表してもらう機会を提供することにより、市民の国際化対応能力を高めるきっかけとすることができた。課題として、高校生の参加も望んでいるが、学校のスピーチ大会等と重なり、高校生の参加者が増えないことが挙げられる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第25回国際交流まつり               <ul style="list-style-type: none"> <li>【日程】11月27日(日)</li> <li>【場所】市民プラザ</li> </ul> </li> <li>●第18回国際交流スピーチ大会               <ul style="list-style-type: none"> <li>【日程】9月28日(日)</li> <li>【場所】市民プラザ</li> </ul> </li> </ul>	企画課
-----	----------------------	---	--	--	--	-----

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課							
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無								
172	消費生活展の実施	我孫子市消費者の会、あびこ型「地産地消」推進協議会、NPOせっけんの街などといった消費団体が、消費生活展のメインテーマに沿った内容についてパネル展示や企画を行う。	<p>●消費生活展</p> <p>【日程】平成28年2月6日、7日</p> <p>【時間】10:30～16:30</p> <p>【開催場所】市民プラザ</p> <p>【参加団体】我孫子市消費者の会、くらしを良くする会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会</p> <p>【来場者数】685名</p> <p>【対象者】我孫子市内在住者436名、その他98名、男性183名、女性313名</p> <p>年代別、60歳代以上52%、40,50歳代17%、20,30歳代13%、20歳未満14%</p>	消費者が悪質詐欺などの消費者被害に遭わないための情報提供をパンフレットの配布や掲示物で発信していきつつ、この生活展では、各市民団体によるパネル展示や実演などにより、日々の暮らしを見つめ直し安全・安心で豊かな生活を送れるよう各市民団体が情報を発信する機会や団体同士の情報交換の場の提供ができた。	第41回消費生活展	【日程】平成29年2月4日、5日	【場所】市民プラザ	【参加団体】8つの市民団体の参加で開催予定		商業観光課				
173	エンジョイ手賀沼	市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	Enjoy手賀沼！2015～行ってみよう 手賀沼ウォッチ～	【日程】5月10日(日)9:00～15:30	【場所】手賀沼親水広場	【参加者】15,000人	【内容】稚魚放流やカヌー・ヨットの体験乗船会等を通し、楽しみながら一人ひとりが手賀沼とのかかわりを考える。	市民団体や事業者と連携をはかり、楽しみながら手賀沼に触れ合える機会を提供し、手賀沼の浄化啓発がはかれた。	Enjoy手賀沼！2016～安心して下さい、遊べますよ～	【日時】5月8日	【場所】手賀沼親水広場	【対象者】どなたでも		手賀沼課
174	(再掲)健康フェア	No.30に同じ												健康支援づくり
175	(再掲)ジャパンバードフェスティバルの開催	No.45に同じ												手賀沼課



NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
176	青少年相談員事業	青少年相談員連絡協議会と共催で、小中学生を対象に、夏季のキャンプやナイトウォークなどの事業を行い、冬季には、小学生の高学年を対象に綱引き大会を行うなど、子どもの自主性、協調性を育む場を提供する。	<p>●青少年キャンプ 【日程】7月18日(土)から19日(日) 【開催場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【当日参加数】46人</p> <p>●青少年綱引き大会 【日程】11月28日(土) 【開催場所】我孫子市民体育館 【当日参加数】877人</p>	<p>●青少年キャンプ 気温が高いことへの児童の熱中症対策が重要課題である。また、昼夜を問わず天候急変への対応も必要であり、青少年相談員は企画から当日まで、安全に事業を行うため何度も打合せを行った。</p> <p>●青少年綱引き大会 普段、運動の苦手な子にも活躍する事が出来る場を与えられた。子ども同士がそれぞれの目標に向かって協力し合い、努力する大切さを学ぶ機会となった。青少年相談員が朝、学校に出向いて綱引きの練習に参加するなど、学校との連携を図り実施できた。</p>	<p>●青少年キャンプ 【日程】7月30日(土)から31日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生</p> <p>●青少年綱引き大会 【日程】11月26日(土) 【場所】我孫子市民体育館</p>	開催時期が11月の最終土曜日に変更となった、最初の実施である。	子ども支援課
177	(再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)	No.41に同じ					子ども支援課
178	子育てフェスタ	我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、祖父母を含めた多世代をつなげるイベントを開催する。	<p>●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月5日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。 【共催】株式会社イトーヨーカドー、我孫子市役所保育課 【協力】石橋生絲株式会社 【来場者数】延べ7,731人(大人4,221人 子ども3,510人)</p> <p>●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】3月26日(土) 【内容】体験ブース、ステージショーなど。 【共催】株式会社イトーヨーカドー、あびこショッピングプラザ、我孫子市役所保育課 【来場者数】延べ7,005人(大人3,761人 子ども3,244人)</p>	<p>どちらのイベントも前年度より来場者が増え(ママへのごほうびフェスタ26年度3,895人が27年度7,731人、子育てフェスタ26年度5,292人が27年度7,005人)、浸透してきていることがわかる。 参加者から「楽しかった」という声が多く聞かれることから、本イベントに参加することでリフレッシュの時間となっている。 会場使用などイトーヨーカドーと連携をはかり実施することができた。</p>	<p>●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月3日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。</p> <p>●あびこで子育てフェスタ 【場所】あびこショッピングプラザ全館(イトーヨーカドー我孫子店) 【日程】未定 【内容】体験ブース、ステージショーなど。</p>		保育課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
179	学校評議員設置事業	小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	<p>【開催場所】市内全小中学校 19校</p> <p>【日程】第1学期(4～7月)に2回、第2学期(9～12月)に1回、第3学期(1～3月)に1回、年間4回実施</p> <p>【内容】学校に関する意見やアドバイス</p> <p>【対象】評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5～8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加</p>	各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等からの意見を学校経営にいかすことができた。	<p>【開催場所】市内全小中学校 19校</p> <p>【日程】第1学期(4～7月)に2回、第2学期(9～12月)に1回、第3学期(1～3月)に1回、年間4回実施</p> <p>【対象】評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5～8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定</p>		学校教育課
180	大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用するとともに、人材の育成を図る。	<p>【日程】通年</p> <p>【場所】市内各小中学校</p> <p>【内容】学習支援、部活動指導補助</p> <p>【対象】小中学校の児童生徒</p> <p>【派遣状況】9校374人</p> <p>【大学別実働人数】          ≪川村学園女子大学≫129人          ≪中央学院大学≫245人</p>	学生ボランティア大学生が学習支援をすることは一定の成果があった。	<p>【日程】通年</p> <p>【場所】市内各小中学校</p> <p>【内容】学習支援、部活動指導補助</p> <p>【対象】小中学校の児童生徒</p>		指導課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
181	キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)	子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をすることによって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合っって職場体験学習を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校においてキャリア教育を実践した。</li> <li>・小中一貫教育の共通カリキュラムとして、9カ年のモデルカリキュラムを作成した。</li> </ul> </li> <li>●職場体験学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校5・6年生を対象に半日、中学校2年生を対象に2～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施した。</li> <li>【日程】6月17日～1月14日</li> <li>【参加者】実施人数 2,132人(小学校6年生1088人・中学校1年生304人・2年生1,740人)</li> </ul> </li> <li>●キャリア教育担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施した。</li> </ul> </li> <li>●地区別会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>市内を4地区に分け、各小中学校の校長・担当者・事業所担当者・指導課担当による会議を年1回実施した。</li> </ul> </li> <li>●共通カリキュラム作成委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>編成委員3人と担当教務主任3人と指導課担当による作成委員会を年4回実施した。</li> </ul> </li> </ul>	職場体験学習を通し、児童・生徒がより適切な職業観や勤労観をもつことができた。実践発表や事業所との意見交換を通して、よりよいキャリア教育や職場体験学習について考えを深めることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校においてキャリア教育を実践する。</li> </ul> </li> <li>●職場体験学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校5または6年生を対象に半日、中学校1または2年生を対象に2～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。</li> <li>【日程】6月16日～1月18日</li> <li>【参加者】実施予定人数 2,277人(小学校6年生1,142人・中学校1年生322人・2年生813人)</li> </ul> </li> <li>●キャリア教育担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回実施する。</li> </ul> </li> </ul>		指導課
182	生涯学習審議会の運営	生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	なし		あびこ楽校協議会と社会教育委員を統合し、生涯学習審議会を起ち上げ、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴き、生涯学習を総合的に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習審議会会議</li> <li>【日程】7月、10月</li> </ul>	生涯学習課
183	(再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	No.126に同じ					生涯学習課

NO	個別事業	趣旨・目的	平成27年度実施内容		平成28年度実施内容		担当課
			具体的内容	事業の成果・課題	具体的内容	廃止・見直し等の場合、理由・代替事業の有無	
184	図書館実習生受入・施設見学	中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	【実習生受入人数及び施設見学者数】 914人 (内訳) ≪小中学校キャリア教育受入れ≫ 23人 ≪JOYボラ受入れ≫ 7人 ≪インターンシップ参加者受入れ≫5人 ≪社会奉仕体験活動≫8月 1人 ≪司書課程実習≫ 1人 ≪施設見学・町探検等受入れ≫877人	施設見学が学校等の都合で前年度より申し込みが少なかった。 キャリア教育は、子どもの将来の進路や職業選択の目安となるため支援する必要がある。	≪小中学校キャリア教育受入れ≫随時 ≪JOYボラ受入れ≫随時 ≪インターンシップ参加者受入れ≫随時 ≪社会奉仕体験活動≫7月、8月 ≪司書課程実習≫随時 ≪施設見学・町探検等受入れ≫随時		図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流	テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	鳥学講座をはじめ、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果をやさしく紹介するテーマトークを実施した。 ○テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) 第1回 4月11日(土)「飛べないクイナ類の保全」参加者22人 第2回 5月9日(土)「バンディングってなあに？」参加者25人 第3回 6月13日(土)「バードウォッチング入門～入門済みの人はちょっと復習～」参加者54人 第4回 7月11日(土)「アホウドリの復活から学ぶこと」参加者49人 第5回 8月8日(土)「小笠原へのアホウドリ再導入作戦のこれまでの成果」参加者43人 第6回 10月10日(土)「ウグイスの亜種の謎についてDNAで調べたら？」参加者26人 第7回 12月12日(土)「鳥類学とバイオメティクス～鳥をまねしたものづくり～」参加者34人 第8回 1月9日(土)「なかなか行けない海鳥繁殖地ってどんなところ？」参加者30人 第9回 2月13日(土)「鳥に乗ってちゃっかり移動？ーマダニの大旅行ー」参加者22人 第10回 3月12日(土)「ジオロケータで判明したブッポウソウの越冬地」参加者36人  ○鳥学講座スペシャル「研究最前線～今どうなっている？鳥と恐竜～」講師：真鍋真さん、聞き手：林良博さん 10月31日(土)13:30～15:30 参加者166人	市民が聞く機会の少ない鳥類研究者の最新の鳥類研究のお話を聞く機会を提供することができた。	○テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) (今年度は11~1月が休館のため、1月のテーマトークも無し) 第1回 4月9日(土)「オス？メス？見た目で見える？雄化する鳥の謎」 第2回 5月14日(土)「シギ・チドリの渡りを追って」 第3回 6月11日(土)「オオミズナギドリの待ち時間-ノネコが増えた海洋島の今-」 第4回 7月9日(土) テーマ未定 第5回 8月13日(土) " 第6回 10月8日(土) " 第7回 2月11日(土) " 第8回 3月11日(土) "  ○鳥学講座inJBF 11月5日(土)		鳥の博物館